

MSRpro-Report Ver.6
(形式:MSR2K-CR-V6)
取扱説明書

NM-7405-E 改8

目 次

1. はじめに	4
1.1. ご使用上の注意事項	5
1.2. 帳票仕様	6
2. ご使用になる前に.....	7
2.1. インストール／アンインストール	7
2.1.1. インストール	7
2.1.2. アンインストール	7
2.2. 表示までの流れ	8
3. MSRpro-ReportBuilder の設定方法	9
3.1. 設定の前にご確認ください.....	9
3.2. 起動方法と終了方法	9
3.3. 基本画面	11
3.3.1. メニューバー.....	11
3.3.2. ツールバー.....	12
3.4. 自動設定	13
3.4.1. データ区切りを設定する	13
3.4.2. 自動印刷を設定する.....	14
3.4.3. 自動ファイル出力を設定する	14
3.4.4. 編集用パスワードを設定する.....	15
3.4.5. 年号を設定する.....	15
3.5. 表示色設定	16
3.5.1. 表示内容を設定する.....	16
3.5.2. 表示色を設定する	19
3.6. 日報設定	21
3.6.1. ページタイトルを設定する	22
3.6.2. 見出しを設定する	22
3.6.3. グループ、ペン番号の割り付け	23
3.6.4. 収集種別を設定する.....	23
3.6.5. 集計項目を設定する.....	24
3.6.6. コピー／ペースト機能を活用する	24
3.6.7. その他の設定.....	25
3.6.8. 設定の保存、キャンセル、初期値設定.....	25
3.7. 月報設定	26
3.8. 年報設定	27
3.9. ファイル設定	28
3.9.1. 設定ファイルの書き出し.....	28
3.9.2. 設定ファイルの読み込み	28
3.9.3. MSRpro 基本設定ファイルの読み込み.....	29
3.10. バージョン情報.....	29
4. MSRpro-Report の操作方法	30
4.1. 起動方法と終了方法	30
4.2. 各部の名称とはたらき	31
4.2.1. メニューバー.....	32
4.2.2. ツールバー.....	33
4.3. システム設定	34
4.3.1. 動作モードを設定する	34
4.3.2. サーバーIP アドレスを設定する	34
4.3.3. 起動時自動接続を設定する.....	34
4.4. 接続	35

4.4.1.	サーバー用 PC との接続.....	35
4.4.2.	接続解除.....	35
4.5.	帳票作成	36
4.5.1.	サーバーデータから帳票を作成する	36
4.5.2.	帳票の編集.....	38
4.5.3.	帳票データを保存する	38
4.5.4.	帳票を印刷する.....	38
4.5.5.	帳票を CSV 形式ファイルで出力する.....	38
4.5.6.	帳票データを編集する	38
4.5.7.	帳票を更新する	39
4.5.8.	他ページの帳票を表示する	39
4.5.9.	保存データを表示する	40
4.6.	自動出力	41
4.6.1.	自動印字を行う	41
4.6.2.	自動ファイル出力を行う	41
4.7.	データファイルの種類.....	41
4.8.	バージョン情報.....	42
5.	付録	43
5.1.	付録1 IP アドレスの確認方法	43
5.1.1.	Windows7 の場合.....	43
5.1.2.	Windows10 の場合	44
5.1.3.	Windows11 の場合	45
5.2.	付録2 集計項目の仕様	46
5.2.1.	日報仕様.....	46
5.2.2.	月報仕様.....	47
5.2.3.	年報仕様.....	47
5.2.4.	積算差分時の注意事項.....	48
5.3.	付録4 管理者権限で実行	49
5.4.	付録5 変更履歴	51

1. はじめに

このたびは、弊社の 2048 チャネル対応クライアント／サーバ形 PC レコーダソフトウェア MSRpro をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本取扱説明書は、MSRpro の帳票作成ソフト MSRpro-Report（形式:MSR2K-CR）がもつ機能を十分にご使用いただくためのパソコン環境、使用する入力機器、操作方法について説明しています。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

本取扱説明書は MSRpro-Report (以降の記述は Report にて行います。)と専用ビルダー (以降の記述は ReportBuilder にて行います。)の取扱説明書です。システム環境や機器との接続については、MSRpro 共通取扱説明書 (NM-7405)をお読みください。

なお、MSReco の関連説明書として、他に以下を用意しています。あわせてお読みください。
お買いあげの CD に収納されています。

名称	番号	内容
MSRpro 共通取扱説明書	NM-7405	システム環境や機器との接続方法について説明しています。はじめにお読みください。
MSRpro クイックスタートマニュアル	NM-7405-H	良く使われる操作やデータ収録までの一連の操作について簡潔に説明しています。
MSRpro-Builder 取扱説明書	NM-7405-A	MSRpro-Builder の機能と操作方法について説明しています。
MSRpro-Server 取扱説明書	NM-7405-B	MSRpro-Server の機能と操作方法について説明しています。
MSRpro-Client/Analyzer 取扱説明書	NM-7405-C	MSRpro-Client/Analyzer の機能と操作方法について説明しています。
MSRpro-Report 取扱説明書	NM-7405-E	MSRpro-Report の機能と操作方法について説明しています。
MSReco 取扱説明書	NM-7405-F	MSReco の機能と操作方法について説明しています。
MSReco-Client 取扱説明書	NM-7405-G	MSReco-Client の機能と操作方法について説明しています。
MSRpro 用一括設定ツール 取扱説明書	NM-7405-D	Excel を使用する MSRpro 用一括設定ツールの機能と操作方法について説明しています。 ソフトをインストール後、取扱説明書がご覧頂けます。

本書の内容は、ユーザー各位のご要望や品質性能の向上にともない、予告なく変更させていただく場合があります。

1.1. ご使用上の注意事項

- (1)MSRpro は、Windows7 Professional、Windows10 Pro、Windows11 の環境で動作するよう、規約に従ったアプリケーションソフトとして設計されています。MSRpro は最短 0.1 秒周期で入力信号処理と全画面の記録描画を繰り返し実行するため、パソコンに一定の負荷をかけます。したがって、CPU 能力とグラフィック能力の高いパソコンのご使用をお勧めします。
- (2)MSRpro が動作している状態で、他のアプリケーションを使用しないでください。
- (3)MSRpro の記録計としての信頼性は、使用するパソコンの OS を含む信頼性に依存します。運用にあたって、この点にご配慮ください。長期間運用する場合は、定期的にメンテナンスを行ってください。
- (4)MSRpro は 1 台のパソコンで 1 つの Window でご使用ください。複数 Window での使用や、LAN での共有はできません。
- (5)電源設定の項目は、すべて「なし」に設定してご使用ください。また、システムスタンバイ等の設定にしないでください。
- (6)スクリーンセーバは無地のものをご使用ください。アニメーションなどを採用するとデータの収録を取りこぼすことがあります。
- (7)デスクトップに必要以上のショートカットや実行ソフトウェアを置かないでください。インターネット関連コンテンツの実行アイコンは、できるだけ削除してご使用ください。描画の乱れが発生する場合があります。
- (8)データ収録中にパソコンの時刻を変更しないでください。時刻を変更する場合は、一旦 MSRpro を終了させてください。(ただし、インターネットの時刻同期や手動での時刻合わせなどによる数分の時刻変更の場合は除きます。)
- (9)MSRpro を使用するネットワークは、他のネットワークと分離してご使用ください。他のネットワークと混合した場合には、相互に動作が不安定になる等の影響を受ける場合があります。
- (10)本製品は他のアプリケーションプログラムと共存させた場合、動作を保証するものではありません。
- (11)次に示すような環境では、ご使用にならないでください。
 - ①本マニュアルに記載の無い条件や環境での使用
 - ②原子力関係施設、鉄道施設、航空施設、車両、燃料装置、医療機器、娯楽機械、安全機器など、関係法令に基づいて安全性の確保が必要な場合での使用
 - ③人命や財産に大きな影響が予測され、特に安全性が要求される用途への使用

1.2. 帳票仕様

①データ取得

取 扱 い デ ー タ : MSRpro-V3 以降の Server ソフトウェアにて収録した通常収録データ

**(注:MSRpro-V1、MSRpro-V2 で収録したデータから帳票を作成することはできません。また、
高速モードでの収録はできません。)**

データ取得方法 : MSRpro 内部コマンドコールによる直接取得

デ ー タ 種 別 : 平均値、最大値、最小値、積算差分、瞬時値、積算値(／時、／秒、／分、／日)

デ ー タ 点 数 : 2048 点(最大)

②帳票

種 別 : 日報、月報、年報

レ イ ア ウ ト : 16 点 / 1 ページ

最 大 枚 数 : 各帳票 128 ページ

印 刷 用 紙 : A3、A4

表 示 桁 数 : 符号含め 12 桁

③データの修正

対 象 : 日報、月報、年報

保 存 : 全帳票を保存可能

修正時の処理 : 集計項目の自動計算

④データの保存

保 存 方 法 : 帳票ファイルとして任意の場所に保存

保 存 期 間 : なし



印刷フォーマット

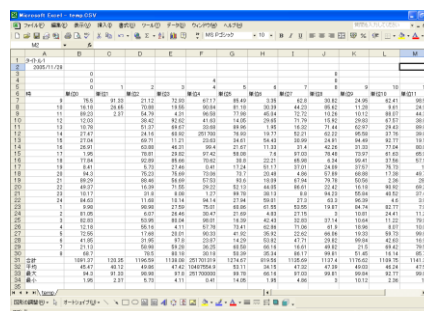
⑤ファイル出力

対 象 : 日報、月報、年報

指 定 : 対象帳票単位

形 式 : CSV 形式

定 時 刻 出 力 : 可



CSV フォーマット

⑦フォーマット(MSRpro-ReportBuilder にて設定)

ページタイトル : 帳票ページ毎、全角 12 文字

日 付 表 示 : 可

印 鑑 承 認 欄 : 0~4 欄(全角 4 文字)

表 示 項 目 : 大見出し、中見出し、小見出し、単位項目(全角 6 文字)

集 計 項 目 : 合計、平均、最大、最小

⑧保守機能

設定セキュリティ : パスワード

修正セキュリティ : パスワード

2. ご使用になる前に

2.1. インストール／アンインストール

2.1.1. インストール

MSRpro-Reportをインストールすると、自動的にMSRpro-ReportBuilderもインストールされます。既に以前のバージョンのMSRproがインストールされている場合は、旧バージョンのMSRproをアンインストールし、本バージョンをインストールしてください。

CDをドライブに挿入すると、自動的にインストールを案内する画面が表示されます。画面の指示に従ってMSRpro-Reportのインストールを実行してください。既にMSRpro-Reportがインストールされている場合は、一旦MSRpro-Reportをアンインストール(削除)した後、再インストールしてください(2.1.2 項参照)。

CDをドライブにセットしても自動的に立ち上がらない場合は、CD内の“MSRpro-V6.exe”を実行し、画面の指示に従ってください。(CDの“MSR2K-CR_j”フォルダ内の“Setup.exe”を実行してもインストールできます。)

インストールが終了すると、プログラムメニューに“MSRpro-V6”メニューが作成されます。

注 意

インストールメニューから取扱説明書を表示する場合、Windows10、Windows11のMicrosoft Edgeでは表示できません。pdfファイルとMicrosoft Edgeが関連付け(Windows10、Windows11の初期設定)されているPCの場合は、CD内の取扱説明書のpdfファイルをダブルクリックしてください。

Windows10、Windows11の場合でも、Acrobat Readerをインストールし、pdfファイルとAcrobat Readerを関連付けさせた場合、インストールメニューから取扱説明書を表示させることができます。

2.1.2. アンインストール

1. 「コントロールパネル」の「プログラムと機能」(Windows7)、または「アプリと機能」(Windows10、Windows11)からアンインストールするソフトウェアの名前を選択し、ダブルクリックします。
2. 画面の指示に従って削除します。

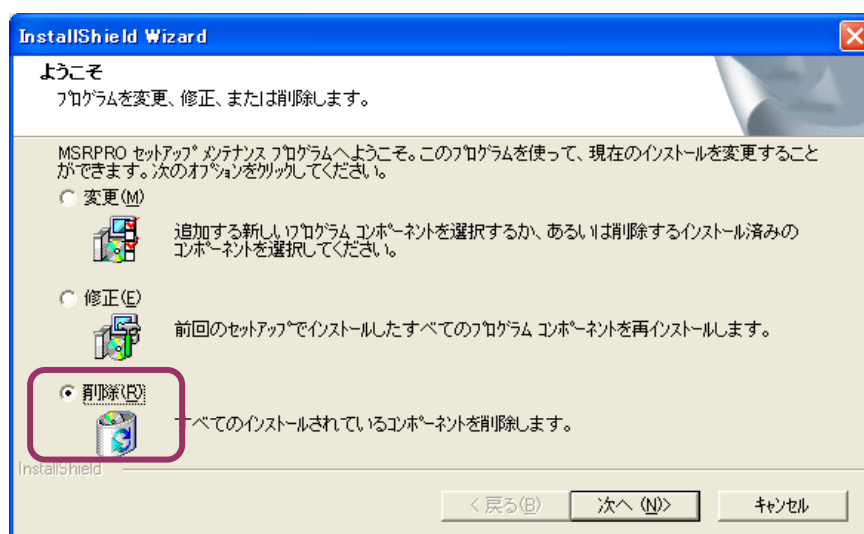
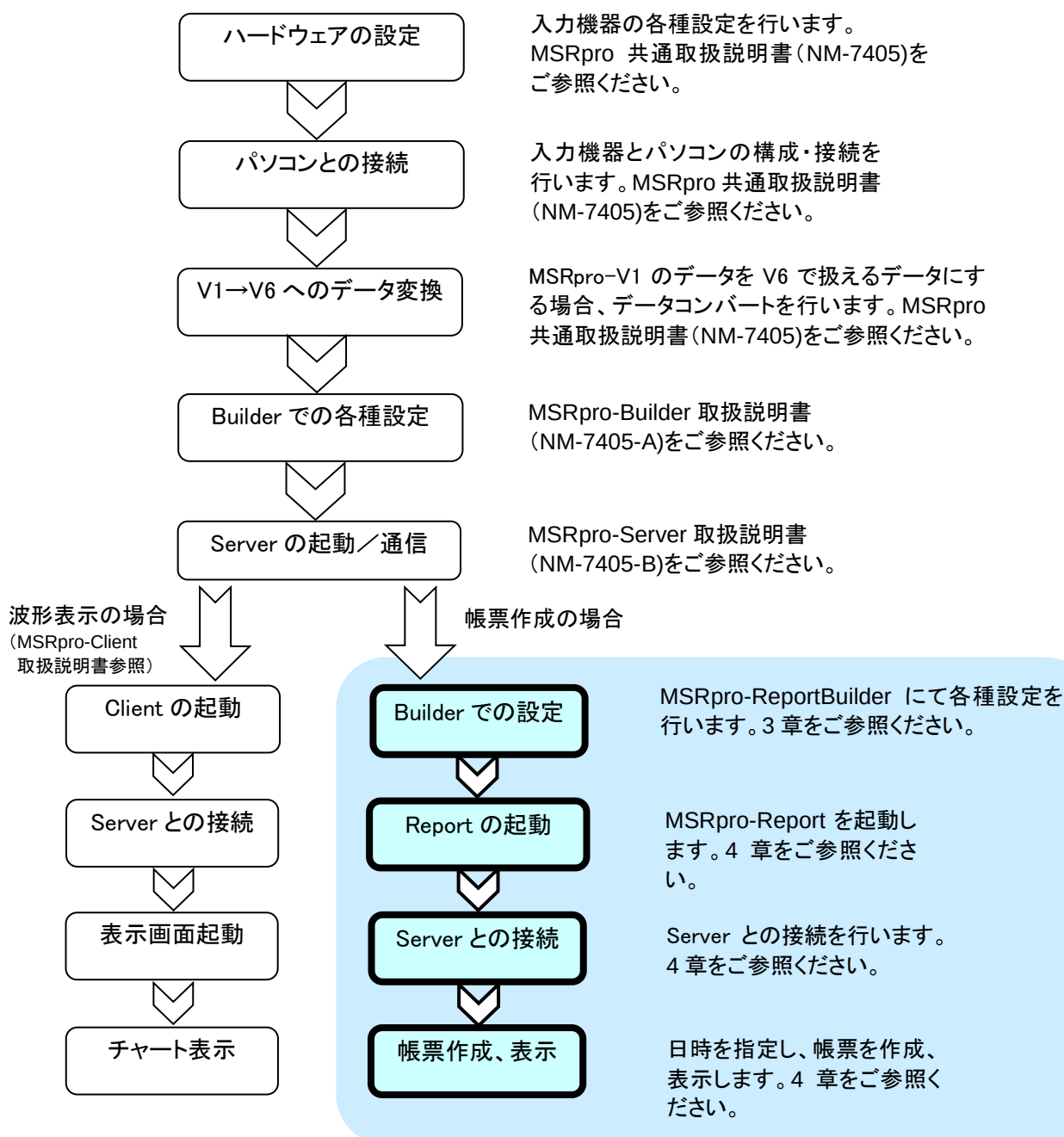


図 2-1

2.2. 表示までの流れ

Builder で各種設定を行い、Server を起動してデータ収集開始後、波形表示を行う場合は、Client を起動してデータを表示します。Server で正常にデータを収集していることを確認してください。その後、ReportBuilder で帳票の各設定を行い、Report を起動して帳票を作成します。

Client から設定変更できない設定を変更する場合は、一度 Client の接続を解除し、Server を終了してから、Builder で設定変更してください。



3. MSRpro-ReportBuilder の設定方法

帳票を作成するための設定は、帳票用ビルダーにて行います。3 章では、帳票用ビルダーの設定方法について説明します。

3.1. 設定の前にご確認ください

ReportBuilder で設定を始める前に、MSRpro-Builder で帳票作成の設定ができていることをご確認ください。システム設定の「帳票機能を使用する」にチェックを入れ、帳票で使用するグループ数を入力してください。

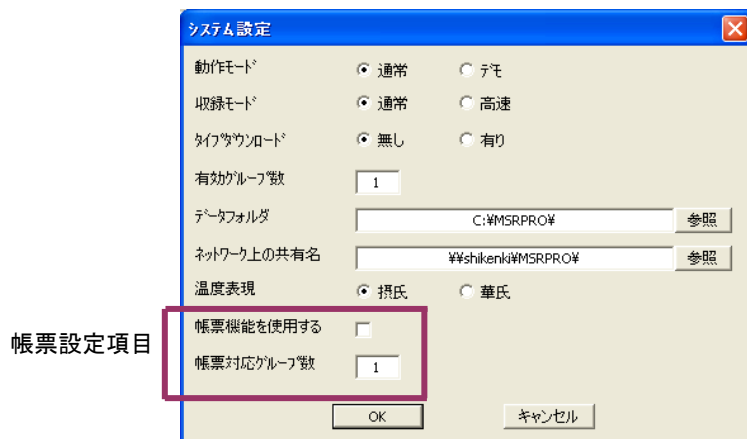


図 3-1

3.2. 起動方法と終了方法

「プログラムメニュー」の「MSRpro-V6」から「MSRpro-ReportBuilder」を選択すると、図 3-2 の画面が表示されます。終了する場合は、×ボタンを押して画面を閉じます。

Server と Report とを同じパソコンで使用する場合は、ReportBuilder インストール後の最初の起動時のみ自動的に MSRpro-Builder の設定を読み込みます。

Server と Report とを別のパソコンで使用する場合は、MSRpro-Builder の設定をメニューバーの「ファイル」－「MSRpro 基本設定ファイルの読み込み」から MSRpro-Builder の設定ファイルを読み込みしてください。

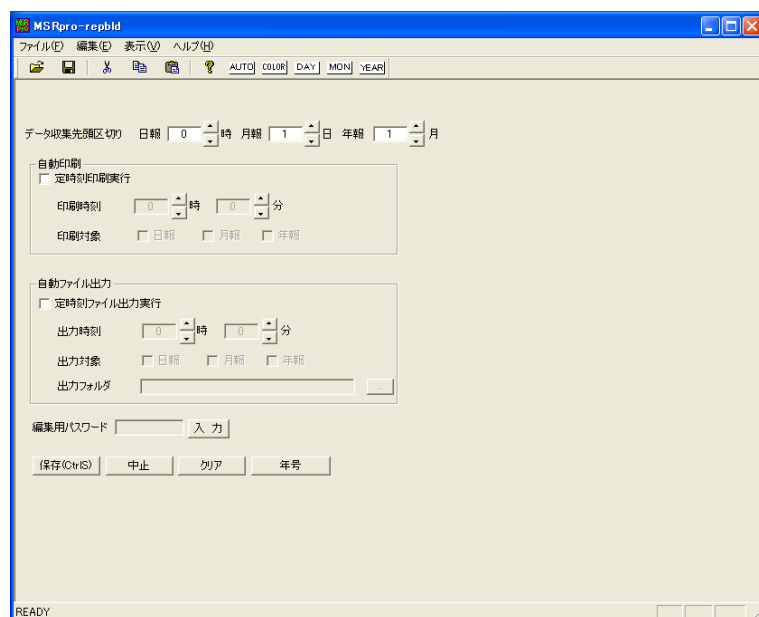


図 3-2

注 意

使用するパソコンの OS が Windows7、Windows10、Windows11 の場合、管理者として実行してください。

管理者として実行する方法は「5.3. 付録 4 管理者権限で実行」を参照ください。

3.3. 基本画面

画面の名称と主な設定項目について説明します。

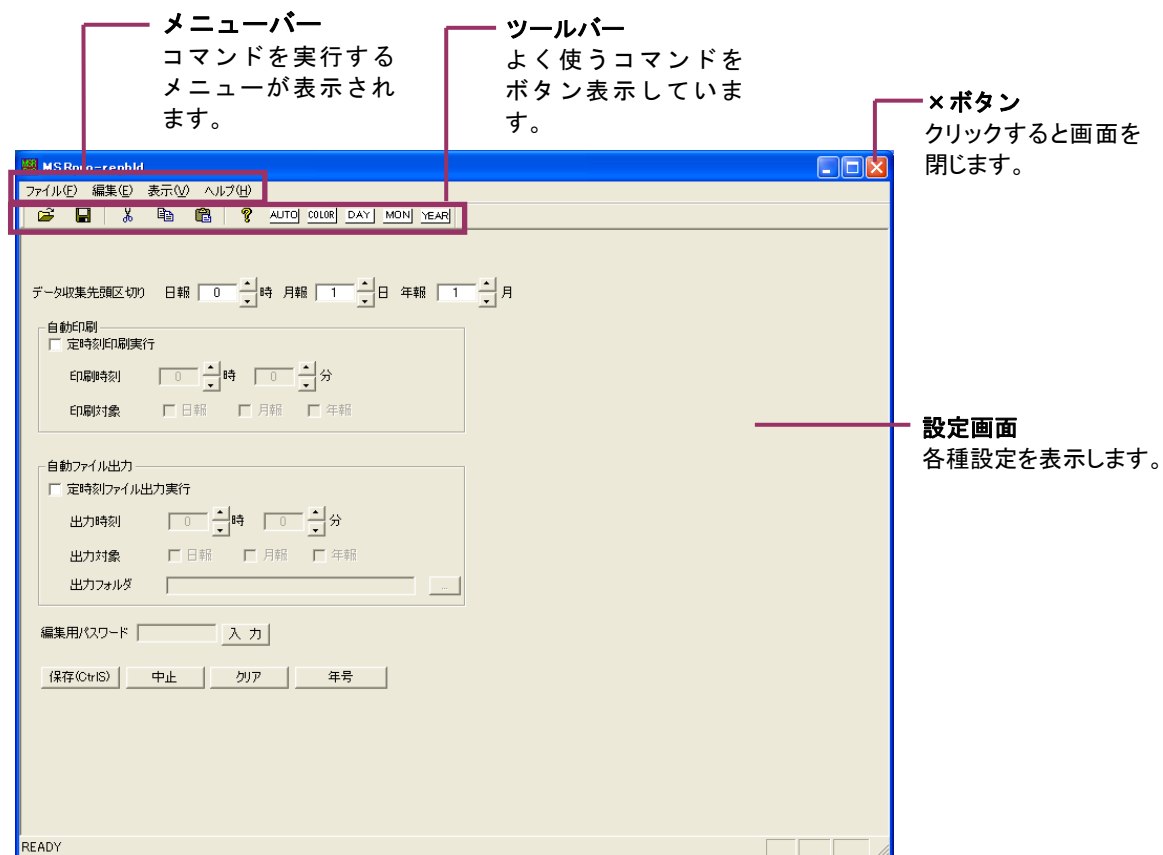


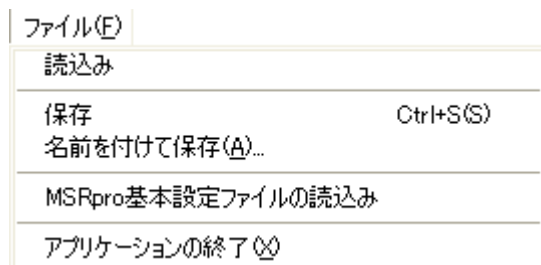
図 3-3

3.3.1. メニューバー

メニューバーの名称とはたらきを説明します。

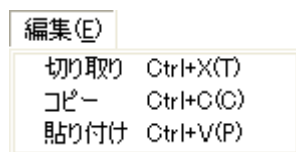
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

■ファイル(F)



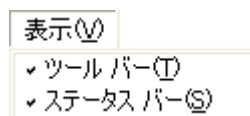
読み込み.....指定されたファイルから設定情報を読み込みます。
保存.....変更内容を保存します。
名前を付けて保存(A)設定情報を指定場所に書き出します
MSRpro 基本設定ファイルの読み込み.....MSRpro 基本設定ファイルを読み込みます。
アプリケーションの終了(X).....アプリケーションを終了します。

■編集(E)



切り取り.....テキストを切り取ります。
コピー.....テキストをコピーします。
貼り付け.....切り取り、またはコピーしたテキストを貼り付けます。

■表示(V)



ツールバー(T).....ツールバーの表示／非表示を設定します。
ステータスバー(S).....ステータスバーの表示／非表示を設定します。

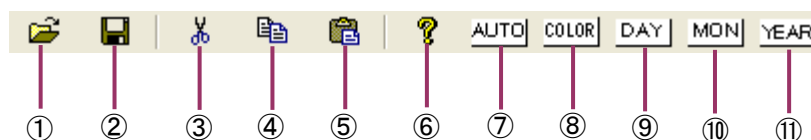
■ヘルプ(H)



バージョン情報.....ReportBuilder のバージョンを表示します。

3.3.2. ツールバー

ツールバーの名称とはたらきを説明します。クリックすると、コマンドを実行します。



- ①開く： 設定ファイルを読み込みます。
- ②保存： 設定ファイルを保存します。
- ③切り取り： テキストを切り取ります。
- ④コピー： テキストをコピーします。
- ⑤ペースト： 切り取り、コピーしたテキストを貼り付けます。
- ⑥ヘルプ： ReportBuilder のバージョンを表示します。
- ⑦AUTO： 自動設定画面を表示します。
- ⑧COLOR： 色設定画面を表示します。
- ⑨DAY： 日報設定画面を表示します。
- ⑩MON： 月報設定画面を表示します。
- ⑪YEAR： 年報設定画面を表示します。

3.4. 自動設定

自動出力の条件と編集時のパスワードを設定します。ツールバーの[AUTO]ボタンを押すと、図 3-4 の自動出力設定画面が起動します。

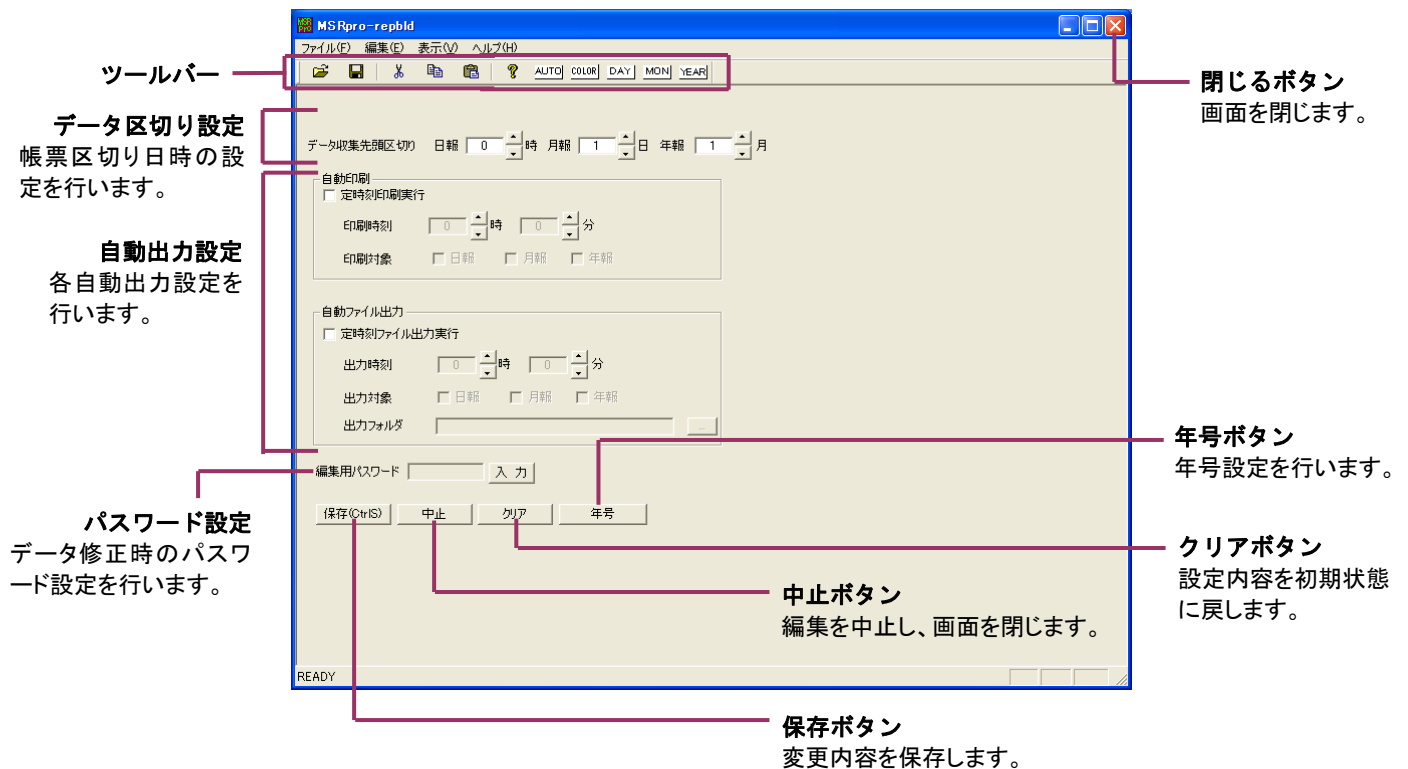


图 3-4

3.4.1. データ区切りを設定する

各帳票のデータ収集先頭区切りを下記の範囲内にて設定します。各欄の▼をクリックして開始時間を選択します。

日報:00 時～23 時

月報:01 日~25 日

年報:01 月~12 月

区切りの設定を行うと、帳票の日付の扱いは次のようになります。

例: 日報(8時)の場合 前日 8 時～当日 7 時までのデータは、前日の日報
 当日 8 時～翌日 7 時までのデータは、当日の日報

年報も同様に、管理する日付が異なりますのでご注意ください。

ただし、月報は下記の例のようになります。

例：月報(20日)の場合 前月 20 日～今月 19 日までのデータは、今月の月報
今月 20 日～翌月 19 日までのデータは、翌月の月報

3.4.2. 自動印刷を設定する

定時刻印刷を実行する場合、自動印刷設定を行います。

「定時刻印刷実行」にチェックを付けると、定時刻印刷を行います。日報の場合には毎日、同時刻に帳票を出力します。また、月報、年報の場合には、締め日後にはじめて自動出力時刻を迎えた場合に出力を行います。



①印刷時刻の設定

印刷を開始する時刻を設定します。分設定は、0～50 分の間で設定してください。

②印刷対象の設定

印刷する帳票を設定します。印刷する帳票にチェックを付けます。

日報、月報、年報の定時刻印刷のタイミングについて

例: 各帳票の区切りを 日報: 9時 月報: 1日 年報: 4月 とします。

印刷時刻を 9 時 10 分とした場合、

日報	毎日 9 時 10 分に前日の日報を印刷
月報	毎月 1 日 9 時 10 分に前月の月報を印刷
年報	毎年 4 月 1 日 9 時 10 分に前年の年報を印刷

参考 自動印刷の実行方法については、4.6 項をご参照ください。

3.4.3. 自動ファイル出力を設定する

定時刻ファイル出力を実行する場合、自動ファイル出力設定を行います。

「定時刻ファイル出力実行」にチェックを付けると、定時刻ファイル出力を行います。日報の場合には毎日、同時刻に帳票を出力します。また、月報、年報の場合には、締め日後にはじめて自動出力時刻を迎えた場合に出力を行います。



①出力時刻の設定

ファイル出力を開始する時刻を設定します。分設定は、0～50 分の間で設定してください。

②出力対象の設定

ファイル出力する帳票を設定します。ファイル出力する帳票にチェックを付けます。

③出力フォルダの設定

ファイル出力するフォルダを設定します。直接パスを入力するか、「・・・」ボタンで参照します。出力フォルダを設定していない場合、ファイルは使用中のドライブのルートフォルダに作成されます。

(Windows7 以降の OS で MSRpro-Report を管理者権限で起動していない場合は、VirtualStore フォルダに出力フォルダが作成されます。)

参考 自動ファイル出力の実行方法については、4.6 項をご参照ください。

3.4.4. 編集用パスワードを設定する

帳票データ編集時のパスワードを設定します。

「入力」ボタンをクリックすると、図 3-5 の画面が表示されます。設定するパスワードを半角 16 文字以内で入力します。

一度設定したパスワードを解除する場合は、ブランクを入力してください。

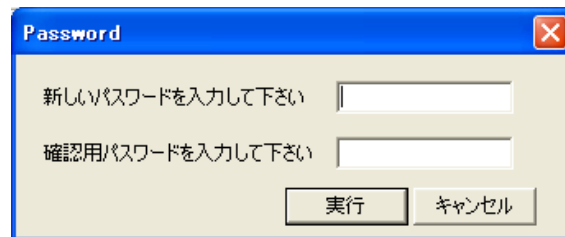
A dialog box titled "Password" with a close button (X) in the top right corner. It contains two text input fields. The first field is labeled "新しいパスワードを入力して下さい" (Please enter a new password). The second field is labeled "確認用パスワードを入力して下さい" (Please enter a confirmation password). Below the fields are two buttons: "実行" (Execute) and "キャンセル" (Cancel).

図 3-5

注 意

パスワードを設定していない場合、帳票データを編集することはできません。

3.4.5. 年号を設定する

帳票に表示する年号を設定します。年号が変更になった場合にのみ使用します。

セルをダブルクリックして、キーインにて入力します。和暦元年に対する西暦を入力してください。

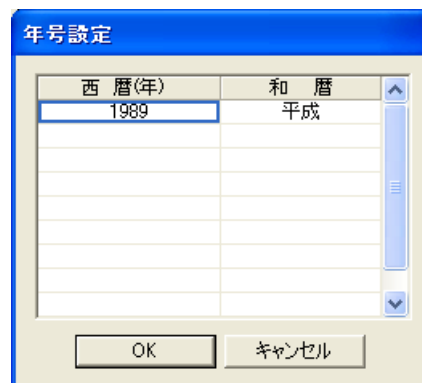
A dialog box titled "年号設定" (Year Setting). It contains a table with two columns: "西 暦(年)" (Western Calendar (Year)) and "和 暦" (Japanese Calendar). The first row shows "1989" in the Western column and "平成" in the Japanese column. There are several empty rows below. To the right of the table is a vertical scrollbar. At the bottom are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

図 3-6

3.5. 表示色設定

帳票表示、文字色等を設定します。ツールバーの[COLOR]ボタンを押すと、図 3-7 の表示色設定画面を表示します。

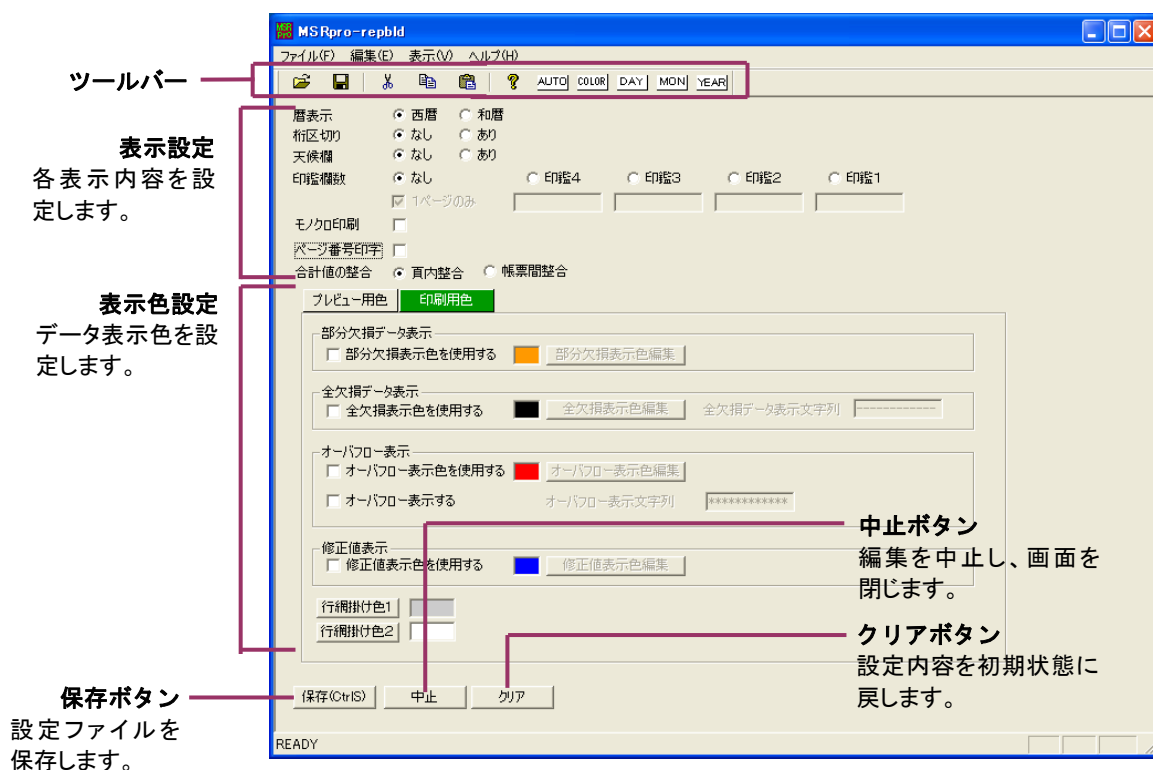


図 3-7

3.5.1. 表示内容を設定する

日付表示の有無や印鑑欄の表示などを設定します。図 3-8 の帳票フォーマットの設定を行います。

日報

承認	審査	作成	補綴

2006年04月11日 天候 ()

グループ1														
ラインA					ラインB					ラインC				
平均値	最大値	最小値	差分	差分	繰上げ	繰上げ	繰上げ	繰上げ	繰上げ	繰上げ	繰上げ	繰上げ	繰上げ	繰上げ
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
1	0.41	17.26	21.90	13.23	23.55	91.66	69.00	4.85	91.56	69.09	1.45	43.55	47.45	26.68
2	84.67	47.71	18.42	55.37	47.67	9.00	37.88	30.93	51.15	78.61	60.60	11.85	71.92	9.74
3	63.34	15.38	2.88	15.38	36.55	25.91	81.27	42.43	62.02	46.88	17.18	0.53	31.66	38.85
4	65.00		1.06	61.18	55.14	87.62	4.61	5.23	26.34	34.01	37.53	9.12	63.31	31.02
5	91.69		90.40	20.92	40.21	16.55	37.28	15.87	42.72	97.89	61.59	8.08	44.74	84.80
6	57.24		69.45	29.29	74.10	46.63	60.14	0.55	52.55	24.23	18.32	60.22	92.13	8.33
7	14.78		92.64	65.41	73.50	63.59	48.48	3.39	64.23	62.79	9.45	21.68	78.27	97.11
8	93.58		26.48	48.33	11.50	76.24	24.83	14.48	26.46	50.02	59.96	43.13	40.18	48.02
9	69.62	74.46	11.15	69.41	5.31	73.07	52.00	63.62	5.85	66.87	77.56	67.87	40.99	88.96
10	44.64	38.05	46.39	17.24	15.48	44.21	34.58	48.09	41.82	25.29	83.21	99.05	5.27	46.67
11	57.05	58.90	96.58	69.66	64.83	43.10	66.18	88.75	2.85	25.49	95.58	79.58	26.25	72.85
12	81.45		67.29	27.04	24.30	75.95	66.17	5.80	84.33	70.88	14.37	36.86	73.91	15.43
13	32.81	42.70	99.30	11.07	40.41	23.13	97.96	99.69	14.26	95.66	79.82	7.02	19.24	1.40
14	68.27	53.50	39.77	1.91	36.02	95.14	47.86	1.42	98.17	29.49	4.81	36.95	10.23	26.54
15	99.61	50.06	23.06	80.07	43.50	43.09	52.81	38.44	37.57	1.93	41.44	64.77	99.72	26.95
16	4.91	11.01	16.73	13.37	2.91	76.16	96.88	14.16	98.32	31.95	31.96	31.96	30.61	16.24
17	29.95	43.93	23.86	54.57	6.36	89.35	7.96	18.81	9.32	32.97	2.22	93.14	41.81	80.19
18	19.42	35.48	50.12	22.87	93.74	14.51	86.09	19.86	41.69	4.16	71.29	58.24	10.03	21.25
19	48.27	66.29	67.45	77.53	10.20	6.00	71.57	3.22	21.54	82.86	27.61	62.02	74.32	65.78
20	54.36	26.23	69.24	3.83	45.96	52.49	4.72	86.57	57.21	61.05	55.35	58.74	75.05	16.94
21	23.91	48.84	90.72	49.45	40.21	65.19	36.22	0.21	71.89	44.88	4.50	43.72	75.93	26.58
22	46.04	99.54	62.70	88.09	73.48	15.56	86.38	56.99	99.76	62.82	11.73	1.59	27.25	63.02
23	39.02		87.56	58.29	22.09	31.99	27.68	22.92	35.57	13.29	24.55	4.66	18.33	30.31
24	1.33		18.40	67.77	97.58	96.66	7.03	86.30	84.76	23.68	57.34	20.44	80.70	84.82
合計	1,181.57	80.36	1,181.57	1,181.57	1,181.57	1,181.57	1,181.57	1,181.57	1,181.57	1,181.57	1,181.57	1,181.57	1,181.57	1,181.57
平均	49.65	26.38	49.65	49.65	49.65	49.65	49.65	49.65	49.65	49.65	49.65	49.65	49.65	49.65
最大	99.61	47.71	99.54	99.30	99.66	95.14	97.96	98.09	99.76	96.66	95.58	99.05	99.72	97.11
最小	0.41	15.38	1.06	11.15	1.91	2.91	3.03	4.72	0.21	2.85	1.45	0.53	1.59	5.27

1 ページ

① 暦表示

② 暦表示

③ 天候欄

④ 印鑑欄数

⑤ モノクロ印刷

⑥ ページ番号印字

⑦ 合計値の整合

西暦 ☒ 和暦 ☐

桁区切り ☒ なし ☐ あり

天候欄 ☒ なし ☐ あり

印鑑欄数 ☒ なし ☐ 印鑑4 ☐ 印鑑3 ☐ 印鑑2 ☐ 印鑑1

☐ 1ページのみ

モノクロ印刷 ☐

ページ番号印字 ☐

合計値の整合 ☒ 頁内整合 ☐ 帳票間整合

図 3-9

① 暦表示の選択

帳票に表示する日付形式を選択します。西暦の場合「yyyy/mm/dd」、和暦の場合「年号 yy 年 mm 月 dd 日」と表示します。

2005年12月02日 天候 ()					
時	第1				
	Aライン			Bライン	
	平均	最大	瞬時	平均	最大
9	0.41	17.28	21.80	13.33	25.65
10	34.67	47.71	18.42	56.37	47.67

② 桁区切りの選択

データ表示桁数 3 桁ごとにカンマを表示します。表示する場合は「あり」に、表示しない場合は「なし」に設定してください。

区切りなし: 999999999

区切りあり: 999,999,999

③ 天候欄の設定

日付表示の後に天候記入欄を表示します。表示する場合は「あり」に、表示しない場合は「なし」に設定してください。

2005年12月02日 天候 ()					
時	第1				
	Aライン			Bライン	
	平均	最大	瞬時	平均	最大
9	0.41	17.28	21.80	13.33	25.65
10	34.67	47.71	18.42	56.37	47.67

④印鑑欄数

印鑑欄を表示する設定を行います。帳票に表示する欄数にチェックを入れると、印鑑欄上部に表示するコメントが設定できますので、全角 4 文字以内で設定してください。印鑑欄は最大 4 つまで設定でき、下図のように右端から順に表示されます。

帳票の 1 ページ目にのみ印鑑欄を表示する場合は、「1 ページのみ」にチェックを入れてください。なしを選択した場合、印鑑欄は印刷されません。

日 報

印鑑4 印鑑3 印鑑2 印鑑1

第2				第3				第4			
Bライン		Bライン		Bライン		Bライン		Bライン		Bライン	
日	最大	最小	日	最大	最小	日	最大	最小	日	最大	最小
00.00	4.88	01.08	00.00	1.46	41.00	47.46	28.08	24.03	00.00	00.00	00.00
07.08	20.00	05.11	13.00	00.00	11.00	8.46	71.00	8.74	28.00	00.00	00.00
01.27	40.42	02.02	46.08	17.16	0.00	31.00	08.00	42.70	00.00	00.00	00.00
4.00	0.23	00.04	04.00	07.00	0.10	00.10	00.00	00.00	00.00	00.00	00.00
07.28	05.87	42.72	07.08	04.00	0.00	44.74	04.00	2.00	18.00	00.00	00.00
00.00	00.14	0.00	02.00	24.25	00.00	00.22	00.13	0.00	00.00	00.00	00.00
00.00	00.00	0.00	04.00	00.00	0.00	00.00	00.00	00.00	00.00	00.00	00.00

⑤モノクロ印刷

印刷時、モノクロ印刷をする場合は、モノクロ印刷にチェックを付けてください。プレビュー時は設定した色で、印刷時はモノクロで印刷します。モノクロ印刷にチェックが付いていない場合は、印刷時設定色で印刷されます。

⑥ページ番号印字

印刷時、帳票にページ番号を印字する設定を行います。ページ番号を印字する場合はページ番号印字にチェックを付けてください。帳票の中央下部にページ番号を印字します。ページ番号印字にチェックが付いていない場合は、ページ番号印字を行いません。

95.14	97.95	98
3.03	4.72	0
1 ページ		

⑦合計値の整合

合計値欄に表示するデータを設定します。帳票欄(セル内)に表示しているデータから合計値を算出して表示する場合は「頁内整合」を、実際に収録したデータから合計値を算出して表示する場合は「帳票間整合」を選択してください。

3.5.2. 表示色を設定する

帳票の表示色を設定します。プレビュー用と印刷用の表示色を設定できます。



図 3-10

①プレビュー用色／印刷用色の切り替え

プレビュー時の表示色と印刷時の表示色をそれぞれ設定できます。タブをクリックして画面を切り替えてください。選択するとタブが緑色になります。

②部分欠損データ表示の設定

帳票データに部分的な欠損がある場合、設定した色で値を表示します。

「部分欠損表示色を使用する」にチェックを入れ、表示色を設定します。表示色の設定方法は、＜参考＞をご参照ください。

③全欠損データ表示の設定

帳票データが全て欠損している場合、設定した色と文字列で表示します。文字列は、半角 12 文字まで入力できます。

④オーバーフロー表示の設定

帳票データがオーバーフロー値の場合、設定した色と文字列で表示します。文字列は、半角 12 文字まで入力できます。

⑤修正値表示の設定

帳票データを修正した場合、修正値を設定した色で表示します。表示色の設定方法は、＜参考＞をご参照ください。

⑥行網掛け色の設定

帳票を見やすくするため、行色を設定できます。奇数行の色は「行網掛け色1」で、偶数行の色は「行網掛け色2」で設定します。表示色の設定方法は、＜参考＞をご参照ください。

<参考>

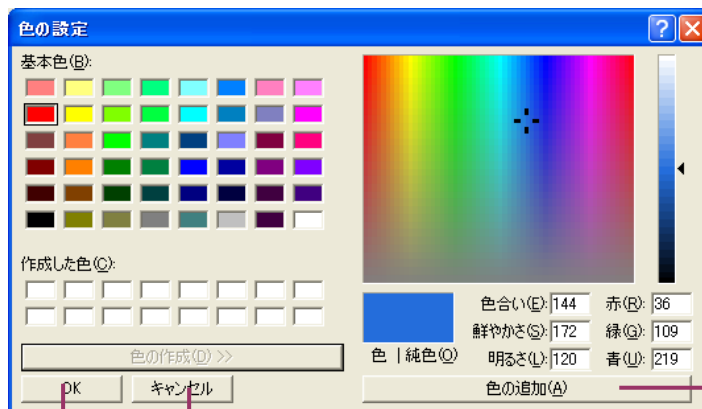
表示色変更方法の手順を説明します。

1. [表示色編集]ボタンをクリックします。
2. 色選択ボックスの中から希望の色を選んでクリックすると、その色が選択されます。色は基本色以外にも作成することができます。
3. 図 3-11 の「色の作成」ボタンをクリックすると、図 3-12 が表示されます。
4. 色選択ボックスと色の明るさボックスをそれぞれカーソルで動かすことによって色を作成し、その後、色の追加ボタンをクリックすると、「作成した色」欄に色が追加されます。
5. [OK]ボタンを押すと、色が変更されます。



色の作成ボタン
色の設定画面を
表示します。

図 3-11



OK ボタン
設定内容を適用し、
画面を閉じます。

キャンセルボタン
設定内容をキャンセルし、
画面を閉じます。

色の追加ボタン
パレットに色を追加しま
す。

図 3-12

3.6. 日報設定

日報の定義設定を行います。ツールバーの[DAY]ボタンを押すと、図 3-13 の日報設定画面が起動します。「ページ追加」ボタンにて日報ページを作成し、日報定義を行います。

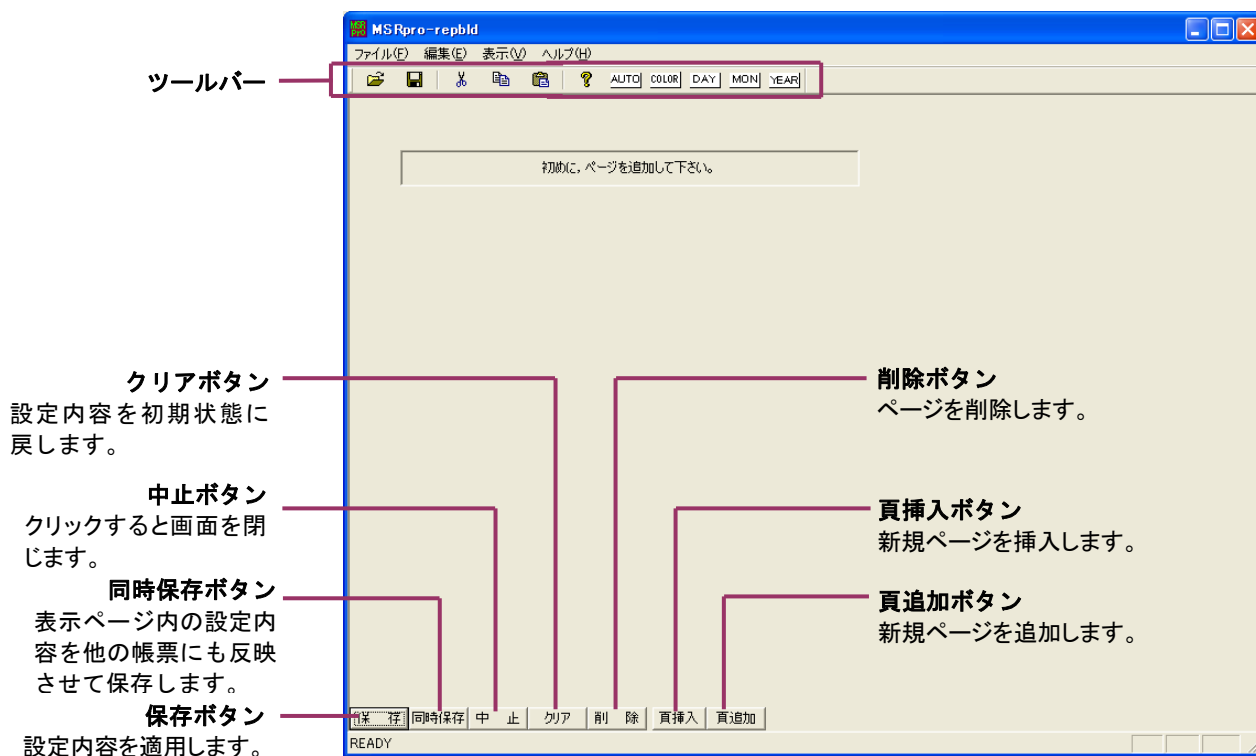


図 3-13

頁追加ボタンを押してページを追加すると、図 3-14 のように日報ページが表示されます。

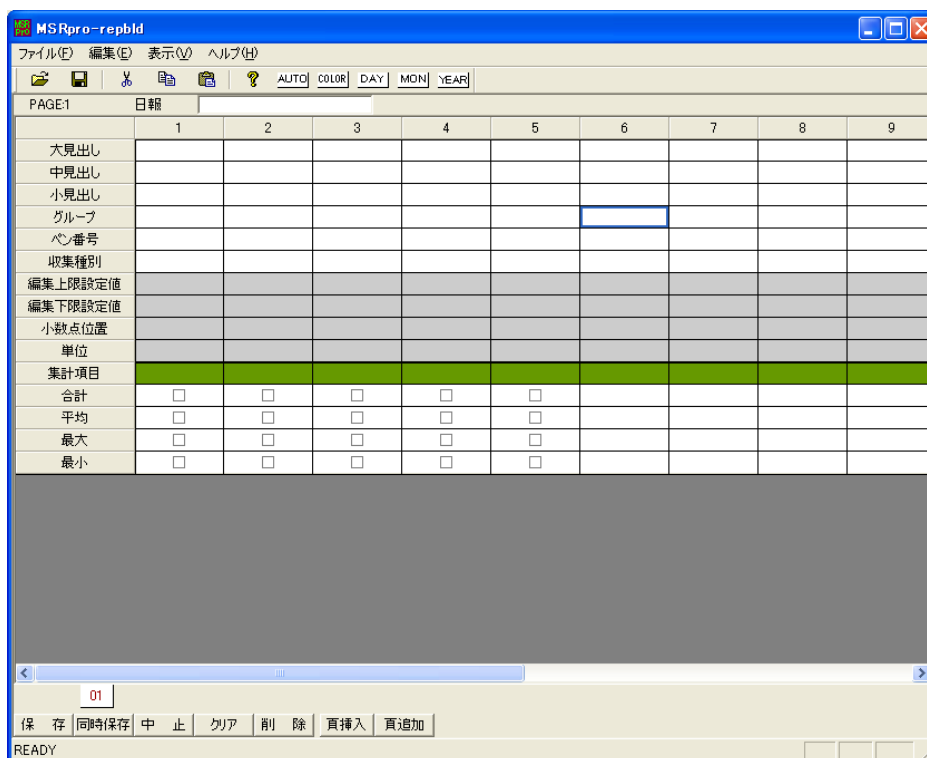
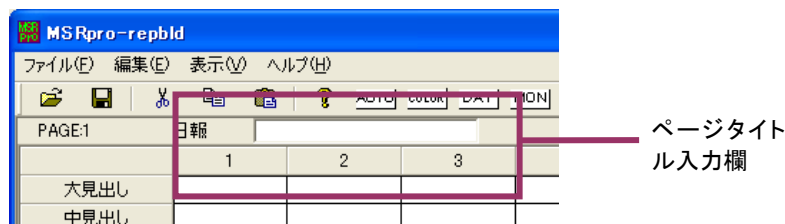


図 3-14

3.6.1. ページタイトルを設定する

日報のページタイトルを設定します。ページタイトル入力欄に入力します。全角 12 文字以内で設定してください。



3.6.2. 見出しを設定する

見出しは、大見出し、中見出し、小見出しを設定できます。各見出しは、隣同士の見出しと結合できます。行をまたいでの結合(例: 大見出しと中見出しを結合する)はできません。

操 作

1. 見出しに表示する内容を全角 6 文字以内で入力します。
2. 見出し結合する場合は、結合するセルを選択し、セル上で右クリックします。選択項目から「見出し結合」を選択すると、見出しが結合されます。
3. 見出し結合を解除する場合は、セル上で右クリックし、選択項目から「見出し結合解除」を選択します。

■ 結合

	1	2	3	4	5
大見出し	大見出し 1	大見出し 2	大見出し 3	大見出し 4	大見出し 5
中見出し	中見出し 1	中見出し 2	中見出し 3	中見出し 4	中見出し 5
小見出し	瞬時値	平均	最大	最小	積算



	1	2	3	4	5
大見出し	大見出し 1			大見出し 4	大見出し 5
中見出し	中見出し 1	中見出し 2	中見出し 3	中見出し 4	中見出し 5
小見出し	瞬時値	平均	最大	最小	積算

■ 結合解除

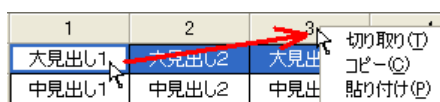
	1	2	3	4	5
大見出し	大見出し 1			大見出し 4	大見出し 5
中見出し	中見出し 1	中見出し 2	中見出し 3	中見出し 4	中見出し 5
小見出し	瞬時値	平均	最大	最小	積算



	1	2	3	4	5
大見出し	大見出し 1	大見出し 1	大見出し 1	大見出し 4	大見出し 5
中見出し	中見出し 1	中見出し 2	中見出し 3	中見出し 4	中見出し 5
小見出し	瞬時値	平均	最大	最小	積算

注 意

大見出しを結合する際、ポインタを下図のように移動し、番号項目部を同時に選択しないようご注意ください。2 行選択している状態になり、結合できなくなります。



3.6.3. グループ、ペン番号の割り付け

日報に表示するペンを設定します。帳票 1 ページに 16 点までペン設定が可能です。

1	1	
1	2	
積算差分		
-		
100.00		
0.00		
?		

操 作

1. 割り付けするペンのグループ番号、ペン番号を半角で入力します。
2. MSRpro で設定されているペン情報が表示されます。

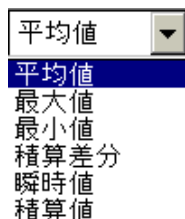
注 意

1. ペン情報は MSRpro で設定している内容を読み込みます。MSRpro の設定を変更した場合は再読み込みをして設定をし直すか、MSRpro の設定内容に合わせて ReportBuilder の設定内容を変更してください。
2. 使用していたペンの種別(アナログ/デジタル)やアナログタイプを途中で変更を行いたい場合、新規ペンを登録して割り付けてください。新規ペンを登録せずに使用していたペンを変更した場合、変更前の帳票データが正しく表示されない場合がありますので、ご注意ください。

3.6.4. 収集種別を設定する

帳票に表示するデータの種別を設定します。

平均値、最大値、最小値、積算差分、瞬時値、積算値を設定できます。各収集種別の詳細は、付録 2 をご参照ください。



積算値に設定した場合は、積算単位を／時、／分、／秒、／日から選択してください。

／時: 収録したデータを積分し、収録周期サンプル数で割った値が記録されます。

例) 収録周期を 0.5 秒、入力 1-5V を実量変換して 0~100 とした場合、1 時間 5V 固定とすると
アナログ積算値は $100 \times 7200 / 7200 = 100$ となります。

／分: 収録したデータを積分し、[収録周期サンプル数/60]で割った値が記録されます。

例) 収録周期を 0.5 秒、入力 1-5V を実量変換して 0~100 とした場合、1 時間 5V 固定とすると
アナログ積算値は $100 \times 7200 / 120 = 6000$ となります。

／秒: 収録したデータを積分し、[収録周期サンプル数/3600]で割った値が記録されます。

例) 収録周期を 0.5 秒、入力 1-5V を実量変換して 0~100 とした場合、1 時間 5V 固定とすると
アナログ積算値は $100 \times 7200 / 2 = 360000$ となります。

／日: 収録したデータを積分し、[収録周期サンプル数/(1/24)]で割った値が記録されます。

例) 収録周期を 0.5 秒、入力 1-5V を実量変換して 0~100 とした場合、1 時間 5V 固定とすると
アナログ積算値は $100 \times 7200 / 172800 = 4.1666\cdots$ となります。

注 意

R3 入力カードを使用して積算差分を行う場合、最大積算値はご使用になる I/O カードに設定されている値をご使用ください(ビルダーで設定した値が自動で読み込まれます)。

3.6.5. 集計項目を設定する

帳票に表示する集計項目を選択します。チェックを入れた項目が帳票に表示されます。
一度にチェックを入れる場合は、チェックを入れる範囲全てを選択し、リターンキーを押してください。

集計項目					
合計	☐	☐	☐	☐	☐
平均	☐	☐	☐	☐	☐
最大	☐	☐	☐	☐	☐
最小	☐	☐	☐	☐	☐

↓

集計項目					
合計	☒	☒	☒	☒	☐
平均	☒	☒	☒	☒	☐
最大	☒	☒	☒	☒	☐
最小	☒	☒	☒	☒	☐

集計項目の算出方法について

計算対象は、欠測値を除いた有効データのみです。

例: 当日の 10 時に日報を参照した場合、11 時以降のデータは空白なので計算対象に含まれません。

3.6.6. コピー／ペースト機能を活用する

テキストコピー、列コピー、ページコピーができます。

①テキストコピー

セル内のテキストを他のセルにコピーします。コピーするテキストがあるセル上で右クリックし、「コピー」を選択します。その後、コピー先のセル上で右クリックし、「貼り付け」を選択してコピーします。

②列コピー

1 列分を他の列にコピーします。コピーする列を選択し、右クリックして「列コピー」を選択します。その後、コピー先の列を右クリックし、「列貼り付け」を選択してコピーします。

③頁コピー

1 ページ分を他のページにコピーします。コピーするページ内で右クリックし、「頁コピー」を選択します。その後、コピーするページ内で右クリックし、「頁貼り付け」を選択し、コピーします。

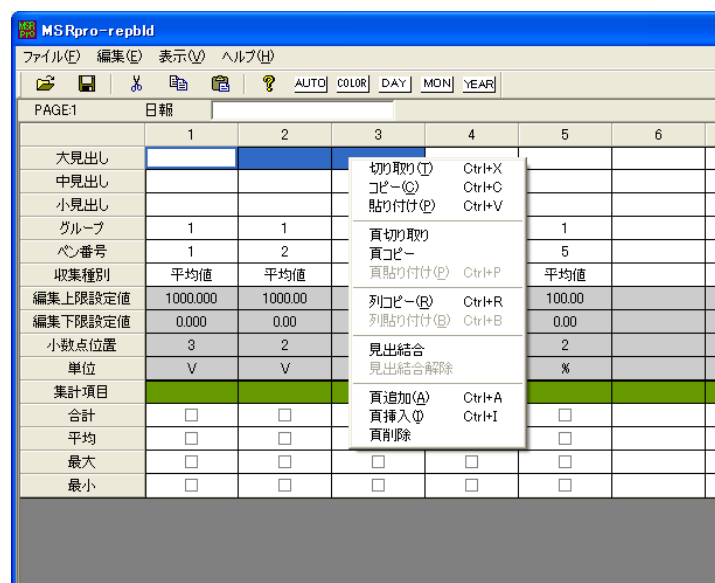


図 3-15

3.6.7. その他の設定

背景がグレイ色の設定項目(編集上下限設定値、少数点位置、単位)は、MSRpro-Builder で設定した内容を自動的に読み込んだ内容です。設定を変更した場合は、編集している帳票独自の設定となります。

3.6.8. 設定の保存、キャンセル、初期値設定

設定画面下側にある各ボタンにて設定の保存、キャンセル、初期値設定などを行います。帳票設定を行った後は、必ず設定内容を保存してください。



①保存ボタン

設定内容を保存します。

②同時保存ボタン

該当画面で設定した内容を他の帳票(月報、年報)にも反映して保存します。同時保存ボタンをクリックすると図 3-16 の画面が表示されます。

このページのみ同時保存:表示しているページのみを他の帳票に反映します。

全てのページを同時保存:表示しているページ以外の設定も他の帳票に反映します。

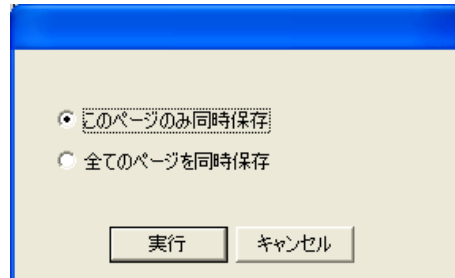


図 3-16

③中止ボタン

編集を中止し、アプリケーションを終了します。

④クリアボタン

設定内容を初期状態に戻します。

⑤削除ボタン

該当ページを削除します。

⑥頁挿入ボタン

新規ページを表示しているページの前に挿入します。

⑦頁追加ボタン

新規ページを一番後ろに追加します。

3.7. 月報設定

月報の定義設定を行います。ツールバーの[MON]ボタンを押すと、図 3-17 の月報設定画面が開きます。「頁追加」ボタンにて月報ページを作成し、月報定義を行います。
設定方法は、日報の設定方法と同じです。日報設定の項目をご参照ください。

PAGE1	月報								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
大見出し									
中見出し									
小見出し									
グループ	1	1	1	1	1				
ペン番号	1	2	3	4	5				
収集種別	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値				
編集上限設定値	1000.000	1000.00	1000.00	1000.00	100.00				
編集下限設定値	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00				
小数点位置	3	2	2	2	2				
単位	V	V	%	%	%				
集計項目									
合計	☒	☒	☐	☐	☐				
平均	☒	☒	☐	☐	☐				
最大	☒	☐	☐	☐	☐				
最小	☒	☐	☐	☐	☐				

図 3-17

3.8. 年報設定

年報の定義設定を行います。ツールバーの[YEAR]ボタンを押すと、図 3-18 の年報設定画面が開きます。「頁追加」ボタンにて年報ページを作成し、年報定義を行います。
設定方法は、日報の設定方法と同じです。日報設定の項目をご参照ください。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
大見出し									
中見出し									
小見出し									
グループ	1	1	1	1	1				
ペン番号	1	2	3	4	5				
収集種別	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値				
編集上限設定値	1000.000	1000.00	1000.00	1000.00	100.00				
編集下限設定値	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00				
小数点位置	3	2	2	2	2				
単位	V	V	%	%	%				
集計項目									
合計	☒	☒	☐	☐	☐				
平均	☒	☒	☐	☐	☐				
最大	☒	☐	☐	☐	☐				
最小	☒	☐	☐	☐	☐				

図 3-18

3.9. ファイル設定

3.9.1. 設定ファイルの書き出し

ReportBuilder で設定した内容をファイル保存します。

設定した内容を、他のパソコン上の ReportBuilder に移したい場合 (同様の設定をしたい場合)、次項の設定ファイル読み込み機能をご利用ください。

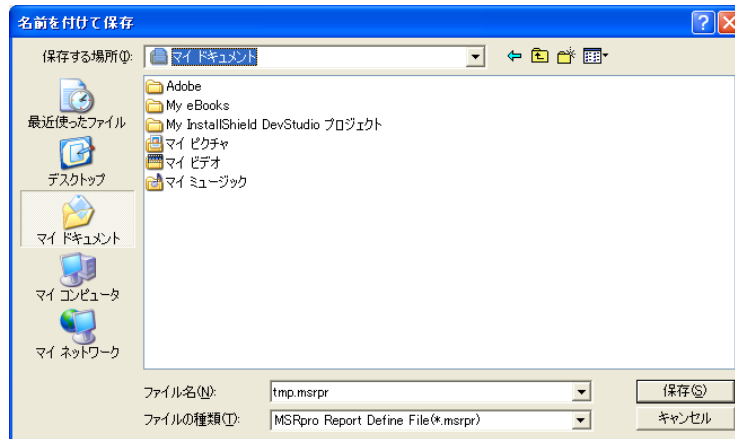


図 3-19

操 作

1. メニューバー「ファイル」－「名前を付けて保存」を選択します。
2. ファイル保存先を選択し、保存します。

3.9.2. 設定ファイルの読み込み

ReportBuilder の設定ファイルを読み込みます。目的とするファイルを選び、ファイル名欄に入れて「開く」を押すと、選択したファイルの内容が ReportBuilder に設定されます。

※MSRpro-V1 (Ver.1.00□) の設定ファイルは読み込みできません。

操 作

1. メニューバー「ファイル」－「読み込み」を選択します。
2. 読み込むファイルの保存先を選択し、読み込みます。

3.9.3. MSRpro 基本設定ファイルの読み込み

MSRpro の設定が変更になった場合、MSRpro の基本設定ファイル(拡張子.msrpp)を読み込む必要があります。

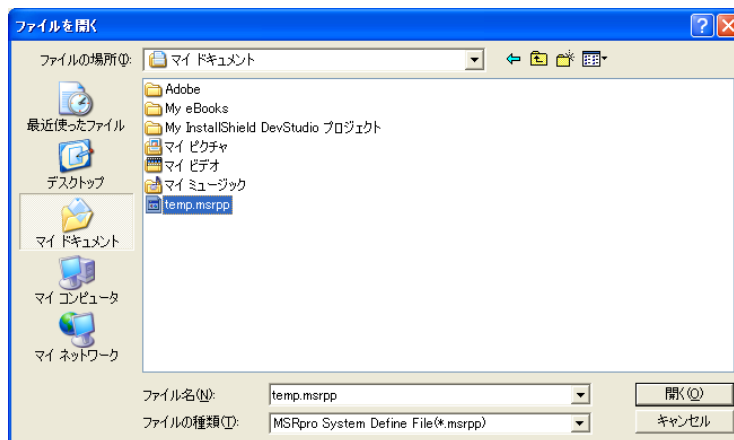


図 3-20

操 作

1. メニューバー「ファイル」－「MSRpro 基本設定ファイルの読み込み」を選択します。
2. 読み込むファイルの保存先を選択し、読み込みます。

3.10. バージョン情報

バージョンを確認する場合は、メニューバーの「ヘルプ」－「バージョン情報」をご確認ください。

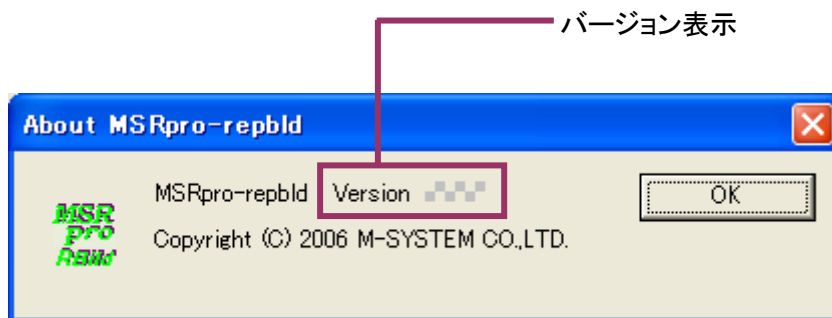


図 3-21

4. MSRpro-Report の操作方法

MSRpro-Report の操作方法について説明します。

4.1. 起動方法と終了方法

「プログラムメニュー」の「MSRpro-V6」から「MSRpro-Report」を選択すると、図 4-1 の画面が表示されます。終了する場合は、×ボタンを押して画面を閉じます。

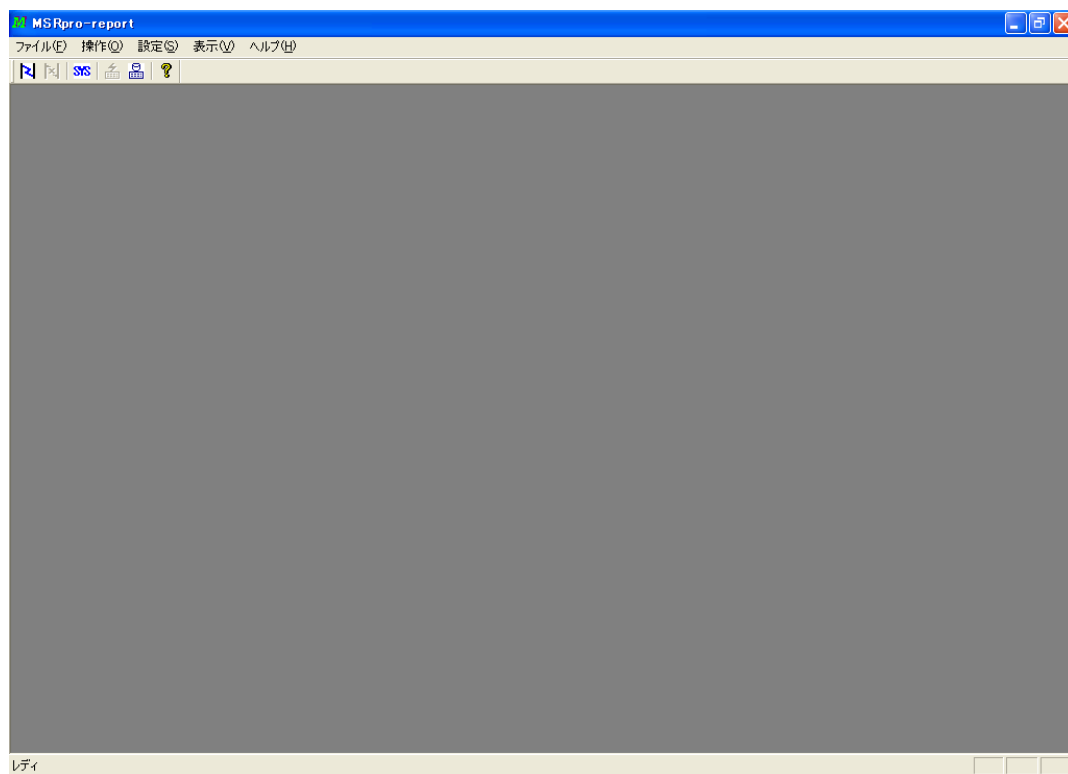


図 4-1 起動画面

注 Report 起動後に ReportBuilder にて帳票設定を変更した場合は、変更内容が反映されませんので、Report を再起動してください。

注 意

使用するパソコンの OS が Windows7、Windows10、Windows11 の場合、管理者として実行してください。

管理者として実行する方法は「5.3. 付録 4 管理者権限で実行」を参照ください。

4.2. 各部の名称とはたらき

[スタート]メニューの[MSRpro-V6]－[MSRpro-Report]を選択して、Reportを起動します。図 4-2の画面が表示されます。

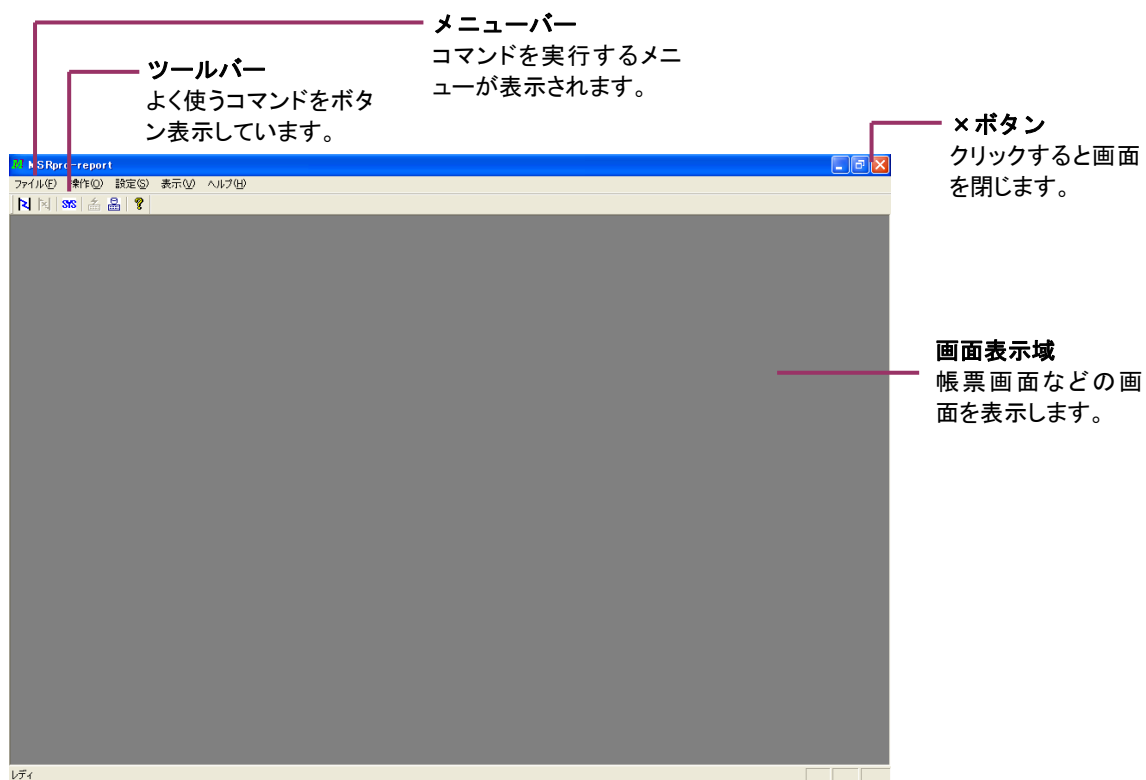


図 4-2

指定した日報、月報、年報を表示します。各帳票は同時に合計 8 画面まで表示可能です。表示後は、データを自動更新しませんので、画面毎にデータ更新ボタンで更新します。

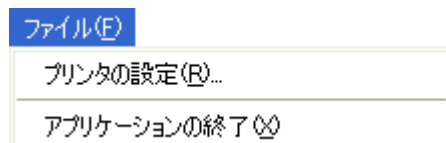
注 Report 本体は 2 つ同時に起動することはできません。

4.2.1. メニューバー

メニューバーの名称とはたらきを説明します。

ファイル(F) 操作(O) 設定(S) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

■ファイル(F)



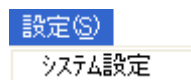
プリンタの設定(R).....プリンタの出力先を設定します。
アプリケーションの終了(X).....アプリケーションを終了します。

■操作(O)



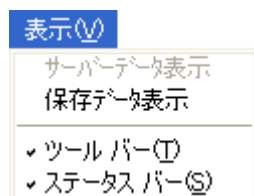
接続.....接続を行います。
接続解除.....接続を解除します。

■設定(S)



システム設定.....システム設定画面を表示します。

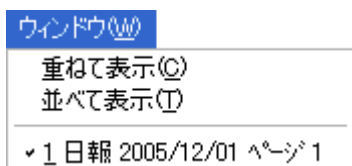
■表示(V)



サーバーデータ表示.....表示選択設定画面を表示します。
保存データ表示.....帳票用保存データを開きます。

■ウィンドウ(W)

帳票ウィンドウを開いている場合のみ表示します。



重ねて表示(C)各ウィンドウを重ねて表示します。
並べて表示(T)各ウィンドウを並べて表示します。

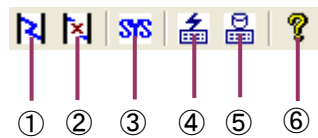
■ ヘルプ(H)



バージョン情報..... Report のバージョンを表示します。

4.2.2. ツールバー

ツールバーの名称とはたらきを説明します。クリックすると、コマンドを実行します。



- | | |
|-------------|----------------------|
| ①接続： | 接続を行います。 |
| ②接続解除： | 接続を解除します。 |
| ③システム設定： | システム設定画面を表示します。 |
| ④サーバーデータ表示： | 表示選択設定画面を表示します。 |
| ⑤保存データ表示： | 帳票用保存データを開きます。 |
| ⑥ヘルプ： | Report のバージョンを表示します。 |

4.3. システム設定

メニューバーの[設定]－[システム設定]または、ツールバーのシステム設定ボタンをクリックするとシステム設定画面を表示します。

Report は、サーバーが収録したデータを取得して帳票を作成します。そのため、帳票を作成するにはサーバーデータと接続する必要があります。システム設定画面では、接続するサーバーの情報などを設定します。

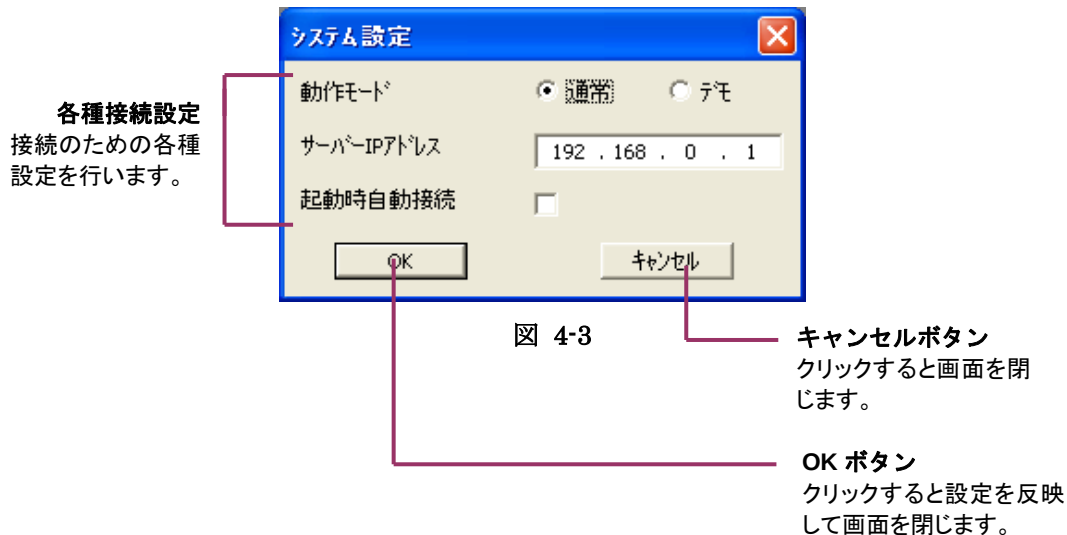


図 4-3

4.3.1. 動作モードを設定する

サーバーの実データを収集して帳票を作成するか、デモデータを使用して帳票を作成するかの設定を行います。

帳票のイメージを見たい場合など、サーバーのデータを収録していなくても、デモデータでの帳票作成が可能です。

通常:サーバーデータを使用して帳票作成します。

デモ:デモデータを使用して帳票作成します。

4.3.2. サーバーIP アドレスを設定する

帳票作成に使用するデータが保存されているサーバー用パソコンのIPアドレスを入力します。

サーバーとレポートを同一パソコン上で起動させ、パソコンの LAN ポートに何も接続されていない場合は、下記の1または2を実施してください。

1. サーバーIP アドレスを「127. 0. 0. 1」に設定
2. パソコンの LAN ポートに HUB 等の機器を接続する。

注 意

IP アドレスを自動的に取得する設定になっている場合や、IP アドレスが分からない等、パソコンの IP アドレスの確認方法については、付録 1 をご参照ください。IP アドレスの割付がされていない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

4.3.3. 起動時自動接続を設定する

Report を次回起動時にサーバー用パソコンへの接続を自動で行います。

自動接続にする場合は、項目にチェックを入れてください。

4.4. 接続

4.4.1. サーバー用 PC との接続

サーバー用のパソコンとの接続を行い、データと設定内容を取得します。

1. メニューバーの[操作]－[接続]または、ツールバーの[接続]をクリックします。
2. 接続を開始します。



接続ボタン
クリックすると接続
を始めます。

3. 接続が終了すると、「接続解除」ボタンと「サーバーデータ表示」ボタンが有効になります。接続が完了しない場合は、IP アドレスの確認を行ってください。



接続解除ボタン
クリックすると接続
を解除します。

サーバーデータ表示ボタン
表示選択設定画面が開きます。

注 意

データの取得にはしばらく時間がかかる場合があります。

接続できない場合は、Server 用パソコンに保存されているデータファイルが共有設定になっていること(エクスプローラ上に表示されること)を確認してください。

4.4.2. 接続解除

サーバーとの接続解除する場合は、接続解除ボタンをクリックします。

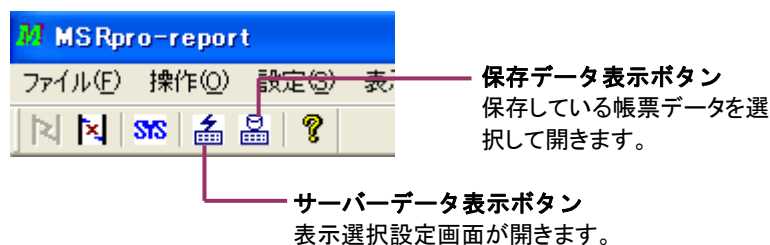
定時刻出力設定をしている場合は、接続状態で出力を行いますので、接続を解除しないでください。

4.5. 帳票作成

帳票を表示する方法は 2 通りあります。1つは、サーバーが作成したデータから帳票を作成して表示する方法、もう1つは、すでに作成し、保存した帳票データを表示する方法です。

サーバーが作成したデータから帳票を作成する場合は、メニューバーの「表示」―「サーバーデータ表示」もしくは「サーバーデータ表示」ボタンを選択し、「表示選択設定」画面を開きます。

保存した帳票データを表示する場合は、メニューバーの「表示」―「保存データ表示」もしくは「保存データ表示」ボタンからファイルを選択して表示します。



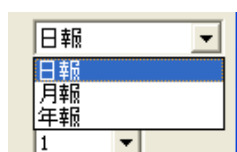
4.5.1. サーバーデータから帳票を作成する



図 4-4

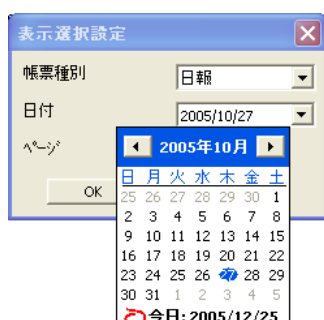
① 帳票種別を設定する

作成する帳票の種別を▼から選択します。日報、月報、年報から選択してください。



② 日付を設定する

作成する帳票の日付を▼から選択します。▼をクリックすると、カレンダーが表示されますので、日付上をクリックして選択してください。



③ページを設定する

表示する帳票のページを▼から選択します。

④帳票を作成する

OK ボタンをクリックすると、該当の帳票を作成して表示します。

帳票作成後、帳票設定を変更する場合は、MSRpro-ReportBuilderにて設定変更後、Reportを再起動させてください。再起動していない場合は、変更前の設定内容を採用します。

MSRpro-report - [日 報 2006/01/06 へ〜]]

ファイル(F) 操作(O) 設定(S) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

MSR 15.387 100%

Page1 Page2 PageNo3

日報

2006年01月06日

時	Group1						Group2					
	平均値				最大値	積算差分	平均値		最大値			
	Pen1	Pen2	Pen3	Pen4	Pen5	Pen6	Pen7	Pen8	Pen9	Pen10	Pen11	Pen12
	V	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
1	0.410	17.260	21.90	13.23	23.55	91.68	69.00	4.85	91.56	68.69	1.45	43.55
2	84.670	47.710	18.42	55.37	47.67	9.00	37.98	30.93	15.11	76.61	80.60	11.85
3	63.340	15.380	2.88	15.38	36.55	25.91	81.27	43.43	62.02	46.88	17.18	0.53
4	65.000		1.06	61.18	55.74	87.62	4.67	5.23	26.34	34.01	37.53	9.12
5	91.690		90.40	20.82	40.31	16.55	37.28	15.87	42.72	97.89	61.39	8.08
6	57.240		89.42	29.29	205,200,000.00	74.10	48.93	93.14	0.55	52.55	24.23	18.32
7	14.780		92.64	65.41	73.50	63.59	46.48	95.03	3.28	64.23	62.79	9.45
8	93.580		26.48	48.33	11.50	76.24	24.83	74.48	26.46	50.02	59.96	43.13
9	69.620		74.46	11.15	69.41	5.37	78.07	52.00	63.62	5.85	66.87	77.56
10	44.640		38.05	46.39	17.24	15.48	24.21	34.58	48.86	41.82	25.29	83.21
11	57.050		58.90	95.58	39.66	64.83	43.10	66.18	88.75	2.85	25.49	95.58
12	81.450		67.29	27.04	34.30	75.95	66.17	5.80	84.33	70.88	74.37	36.46
13	32.810		43.70	99.30	11.07	40.41	28.13	97.96	98.69	14.26	98.66	79.82
14	68.270		53.50	39.77	1.91	36.02	95.14	47.98	1.42	86.17	29.49	4.81
15	99.610		50.06	23.05	80.07	43.50	43.09	52.81	38.44	37.57	1.93	41.44
16	4.910		11.01	16.73	13.37	2.91	76.16	95.89	14.16	98.32	31.95	31.96
17	29.950		43.93	23.86	54.57	8.35	89.35	7.98	18.81	9.32	32.97	2.22
18	19.420		35.48	50.21	22.87	93.74	74.51	80.09	19.98	41.69	4.16	71.29
19	48.270		96.29	87.45	77.53	10.20	6.00	71.57	3.22	21.54	82.86	21.61
20	54.360		26.23	69.24	3.93	45.96	52.49	4.72	86.51	57.21	61.05	55.35
21	23.910		40.84	90.72	49.45	40.21	65.19	36.22	0.21	71.89	44.88	4.50
22	46.040		99.54	62.70	89.09	73.48	15.56	85.38	56.99	99.76	62.82	11.73
23	39.020		87.55	58.29	22.09	31.99	27.98	22.92	35.57	13.29	24.55	4.66
24	1.530		18.40	67.77	97.58	96.68	3.03	60.38	84.76	23.68	57.34	20.44
合計	1,191.570	80.350	1,188.44	1,179.27	205,200,972.86	1,129.78	1,138.52					
平均	49.649	26.783	49.52	49.14	8,550,040.54	47.07	47.44	49.39				
最大	99.610	47.710	99.54	99.30	205,200,000.00	96.68	95.14	97.96				
最小	0.410	15.380	1.06	11.15	1.91	2.91	3.03	4.72				

レイ

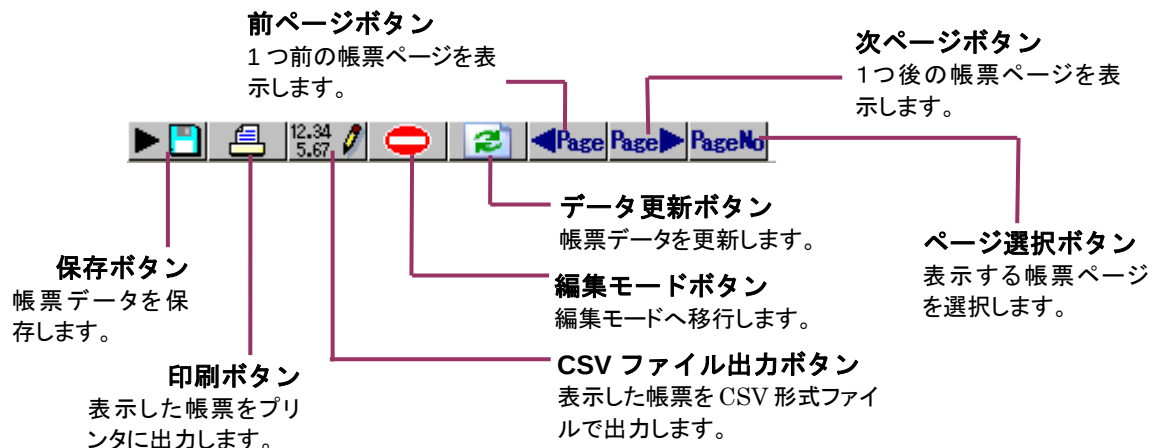
図 4-5 表示例

参 考

MSRpro-Report は、MSRpro-Server が収録済みのデータを読み込んで帳票を作成します。そのため、現在は Server のデータがない場合でも、過去に収録したデータがある場合は、過去のデータを読み込んで帳票を作成します。

4.5.2. 帳票の編集

各帳票画面の左上に各編集機能用のボタンがあります。表示している帳票に対して、印刷、データ編集、データ更新などを行います。



4.5.3. 帳票データを保存する

保存ボタンをクリックすると帳票データを保存します。

現在表示している帳票を帳票専用ファイルにて指定場所に保存します。保存したファイルは、Reportで読み込んで表示することができます。

帳票用データは、日報の場合「日報 yyyyymmdd-n.msrprd」ファイルを作成します。帳票専用ファイルですので、他のアプリケーションでの読み込みはできません。

4.5.4. 帳票を印刷する

印刷ボタンをクリックすると、帳票をプリンタ印刷します。

現在表示している帳票を指定したプリンタへ印刷します。プリンタはシステムで使用可能なものから任意に選択できます。1ページに8ペン以上設定している場合は、横向きにて印刷することをお勧めします。

4.5.5. 帳票をCSV形式ファイルで出力する

CSVファイル出力ボタンをクリックすると、現在表示している帳票をファイル出力します。CSV形式で指定場所に保存します。

4.5.6. 帳票データを編集する

現在表示している帳票データを編集します。「編集モード」ボタンをクリックすると、図 4-6 のパスワード入力画面が表示されます。ReportBuilderにて設定した編集用パスワードを入力します。

ReportBuilderにてパスワードを設定していない場合は、編集モードボタンをクリックしてもパスワード入力画面は表示されません。編集用パスワードを設定してください。

パスワードが確定すると、編集モード画面になります。図 4-7 のように、編集モードボタンが緑色の場合は、編集モードであることを表します。

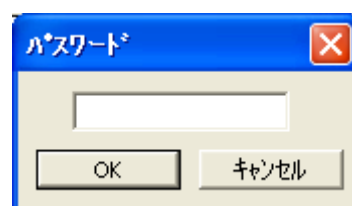


図 4-6



図 4-7

編集モード画面にて編集するセルをクリックすると、図 4-8 が表示されます。入力枠に数値を入力し、OK ボタンをクリックすると、帳票に指定色にて編集した値が反映されます。同時に、集計項目(合計、平均、最大、最小)の再計算を行います。
全欠測表示セルの編集を行う場合は、全欠測属性付加ボタンをクリックして全欠測表示を解除し、数値を入力してください。

編集モードを解除する場合は、×ボタンで帳票画面を閉じるか、編集モードボタンをクリックします。

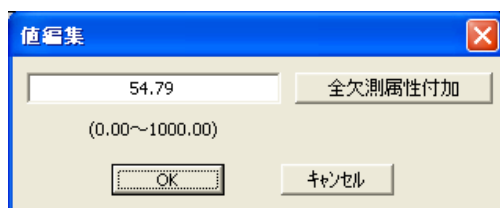


図 4-8

注 意

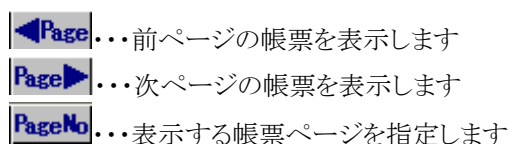
データを編集した場合は、編集した帳票ファイルの保存を行ってください。保存しない場合、編集データは破棄されます。

4.5.7. 帳票を更新する

MSRpro-Report では、帳票を作成した時点で帳票演算を行います。そのため、常に最新の帳票が自動的に表示されません。データ更新ボタンをクリックすると、最新の帳票データを帳票に読み込みます。

4.5.8. 他ページの帳票を表示する

現在表示している帳票画面から、別の帳票画面に移動する際に使用します。違う日の帳票を表示する場合は、「サーバーデータ表示ボタン」から表示してください。



4.5.9. 保存データを表示する

既に作成し、保存した帳票データを表示する場合は、メニューバーの「表示」-「保存データ表示」もしくは「保存データ表示」ボタンからファイルを選択して表示します。

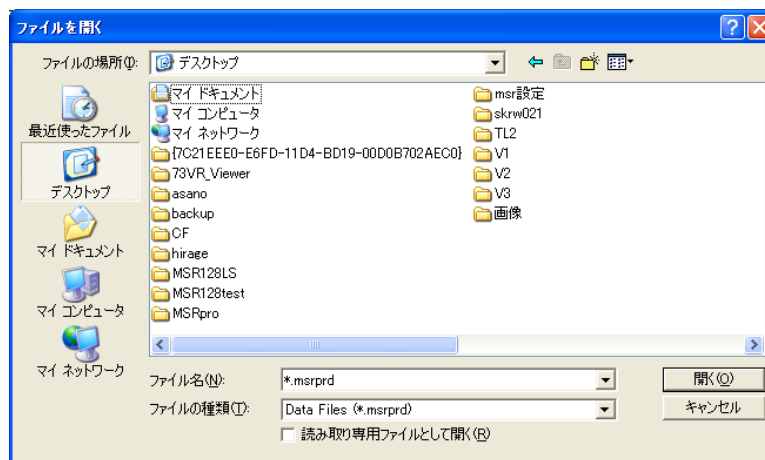
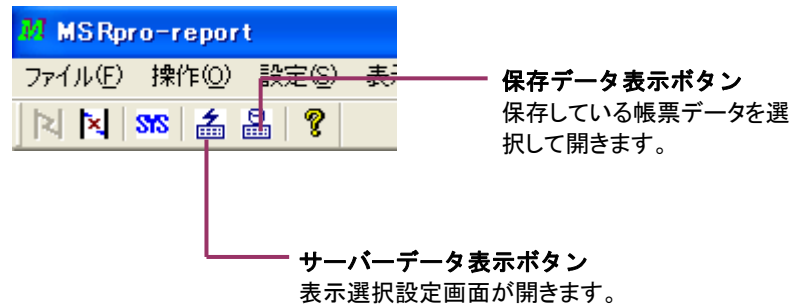


図 4-9

4.6. 自動出力

4.6.1. 自動印字を行う

3.4.2 項で自動印字設定をしている場合、設定時刻に自動で帳票印字を行います。自動印字を行う場合は、設定を確認し、図 4-10 のようにサーバーと接続している状態のままにしてください。接続状態でない場合、自動出力されませんので、ご注意ください。なお、自動出力を行う場合は、必ず、事前に手動出力を行い、正しく出力されることをご確認ください。



図 4-10 サーバーと接続状態

4.6.2. 自動ファイル出力を行う

3.4.3 項で自動ファイル出力設定をしている場合、設定時刻に自動でファイル出力を行います。自動ファイル出力を行う場合は、設定を確認し、図 4-10 のようにサーバーと接続している状態のままにしてください。接続状態でない場合、自動出力されませんので、ご注意ください。なお、自動出力を行う場合は、必ず、事前に手動出力を行い、正しく出力されることをご確認ください。

4.7. データファイルの種類

Report が扱うファイルの種類について記述します。

No.	種別	用途・形式	ファイル名称	拡張子
1	帳票データファイル	Report が作成する帳票作成用の内部ファイルですので、操作しないでください。	日報 yyyyymmdd・n 月報 yyyyymm・n 年報 yyyy・n n:グループ数 固定です。	msrprd
2	帳票設定ファイル	ReportBuilder で設定した帳票情報などの設定情報を保存するためのファイルです。	任意に設定可能です。	msrpr
3	帳票作成用データファイル	MSRpro-Server が帳票作成用に作成するファイルです。帳票作成用の内部ファイルですので、操作しないでください。	固定です。	msrpt

4.8. バージョン情報

バージョンを確認する場合は、メニューバーの「ヘルプ」－「バージョン情報」をご確認ください。

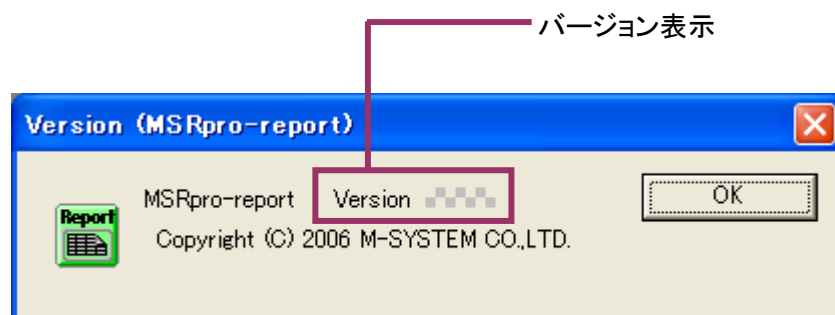


図 4-11

5. 付録

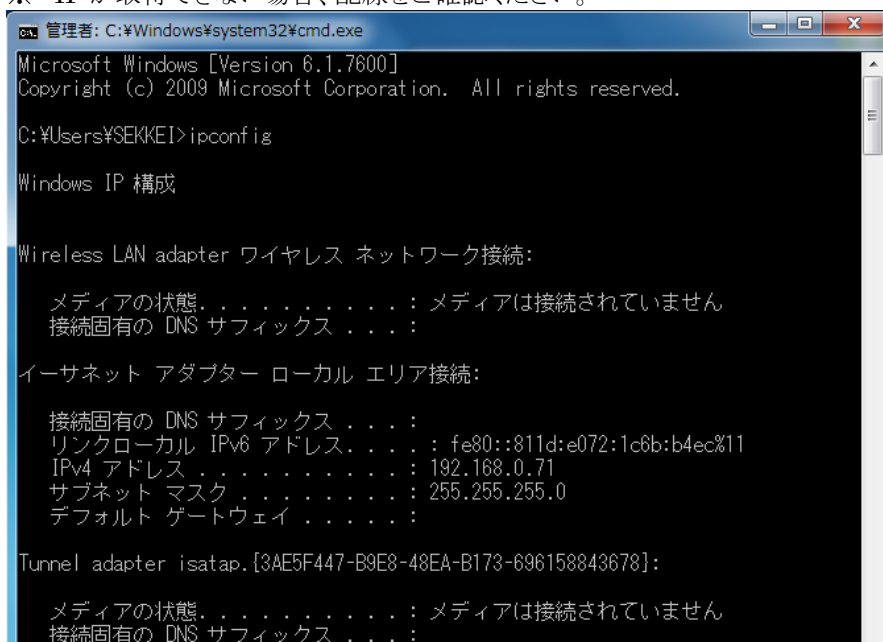
5.1. 付録1 IP アドレスの確認方法

5.1.1. Windows7 の場合

1. [スタートメニュー]—[プログラムとファイルの検索]をクリックします。
2. 次に「cmd」と入力し[Enter]キーを入力します。



3. 「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。
 4. 画面に「IPv4 Address」が表示されますので、ご確認ください。
- ※ IP が取得できない場合、配線をご確認ください。



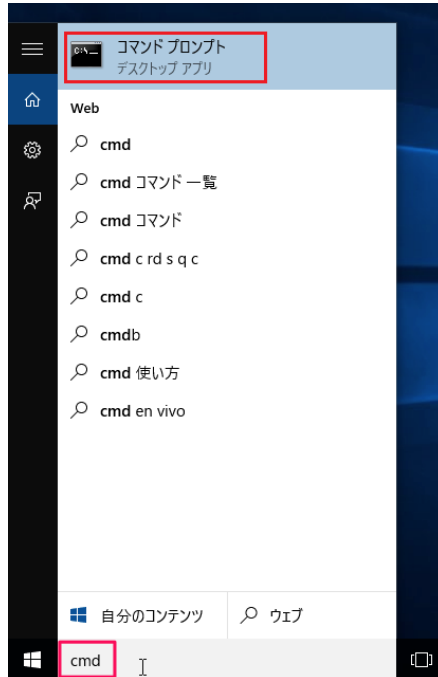
5. 「exit」と入力し、[Enter]キーを押すと画面が閉じます。

5.1.2. Windows10 の場合

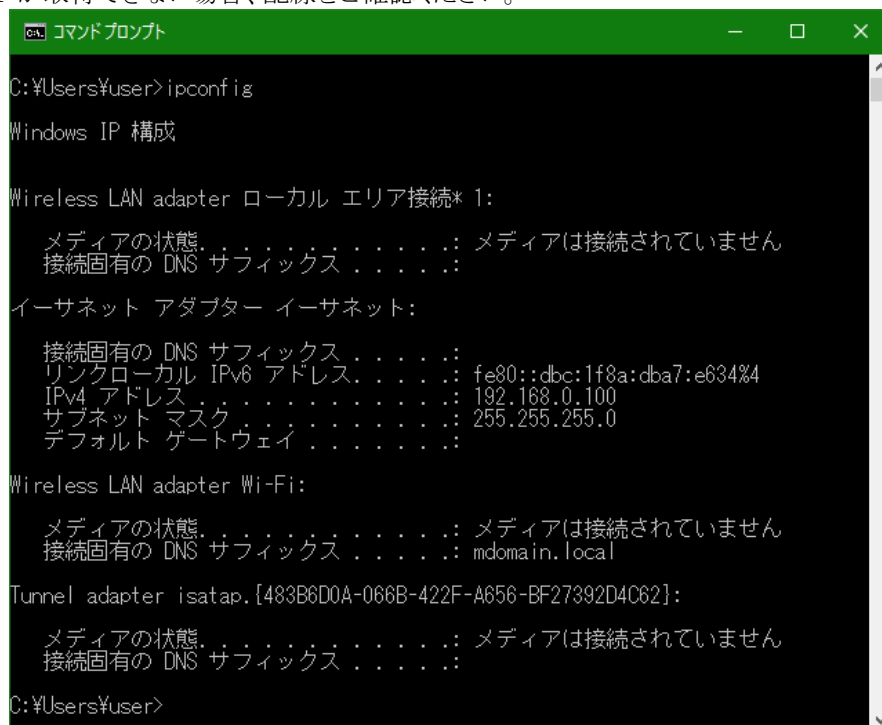
1. デスクトップの左下にある「Web と Windows を検索」に「cmd」と入力します。



2. 表示された「コマンドプロンプト(デスクトップアプリ)」をクリックします。



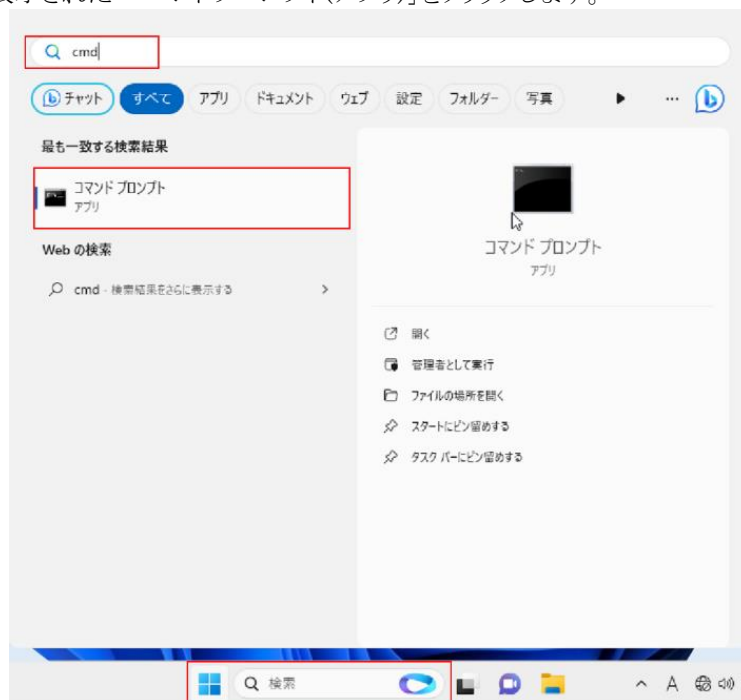
3. 「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。
 4. 画面に「IPv4 Address」が表示されますので、ご確認ください。
- ※ IP が取得できない場合、配線をご確認ください。



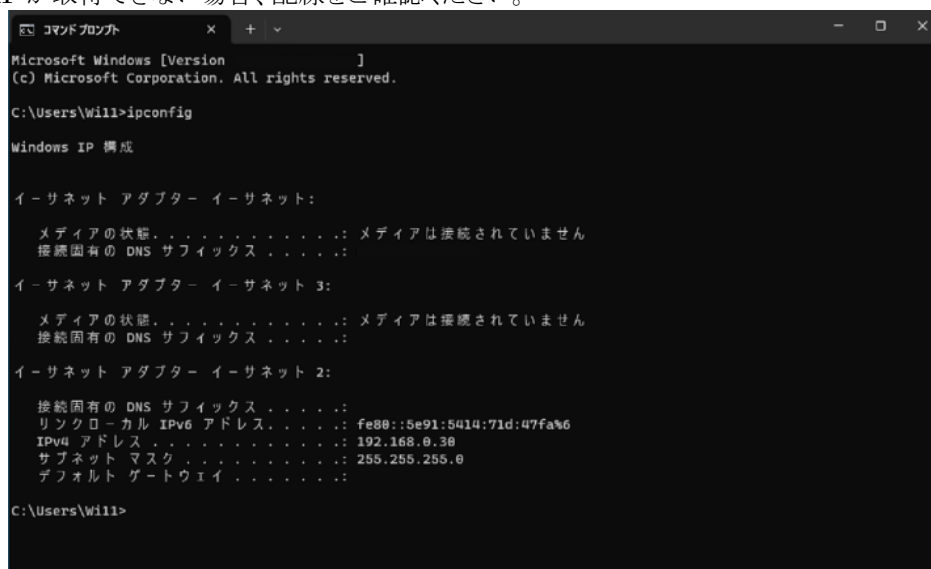
5. 「exit」と入力し、[Enter]キーを押すと画面が閉じます。

5.1.3. Windows11 の場合

1. デスクトップ下にある「検索」に「cmd」と入力します。
表示された「コマンドプロンプト(アプリ)」をクリックします。



2. 「ipconfig」と入力し、「Enter」キーを押します。
3. 画面に「IPv4 Address」が表示されますので、ご確認ください。
※IP が取得できない場合、配線をご確認ください。



4. 「exit」と入力し、「Enter」キーを押すと画面が閉じます。

5.2. 付録2 集計項目の仕様

5.2.1. 日報仕様

日報の集計項目(合計、平均、最大、最小)の仕様を表 5-1 に示します。

表 5-1

収集種別		平均値	最大値	最小値	積算差分 ^{注意}	瞬時値	積算値
時限欄 (各時間のセル)		1 時間の 平均値*1	1 時間の 最大値*2	1 時間の 最小値*3	1 時間の差分	正時データ*4	1 時間の単位 あたりの積算値
合計	頁内整合	印字データの 合計値	印字データの 合計値	印字データの 合計値	印字データの 合計値	印字データの 合計値	印字データの 合計値
	帳票間整合	生データの 合計値			生データの 合計値		生データの 合計値
平均	頁内整合	印字データの 平均値	印字データの 平均値	印字データの 平均値	印字データの 平均値	印字データの 平均値	印字データの 平均値
	帳票間整合	生データの 平均値			生データの 平均値		生データの 平均値
最大		印字データ中の最大値					
最小		印字データ中の最小値					

*1: 正時の次データ～正時データ間の平均値

*2: 正時の次データ～正時データ間の最大値

*3: 正時の次データ～正時データ間の最小値

*4: 正時データがない場合は欠損とみなします。

注 意 積算差分に対応しているデータは下記のデータのみとなりますので、ご注意ください。

■PC レコーダ(形式: R1M-P4)、R7EWTU、R7MWTU、R7M-PA8 の COUNT タイプデータ

■リモート I/O R3 シリーズ(形式: R3-PA16、PA4A、PA4B、PA8、WTU、WT4x) の COUNTxx
タイプデータ(R3-WTU の COUNT16 データは不可)

■電力マルチメータ(形式: 52U) の COUNT タイプデータ

■(L)53U、54U、R7EWTU、R7MWTU のピーク時有効電力量(EP)、ピーク時無効電力量(EQ)、
ピーク時皮相電力量(ES)タイプデータ(Ver.6.03.XX 以降)

※(L)53U、54U の COUNT タイプデータは対応外となります。

■54U2 の 2 ワード長電力データ(E 電力量)タイプの受電電力量、拡大受電電力量、送電電力量、拡
大送電電力量等。(Ver.6.07.XX 以降)

※54U2 の 1 ワード長電力データ(E3 電力量 3 桁)は対応外となります。

■M5XWTU のピーク時有効電力量(EP)、ピーク時無効電力量(EQ)、ピーク時皮相電力量(ES)
タイプデータ(Ver.6.08.XX 以降)

5.2.2. 月報仕様

月報の集計項目(合計、平均、最大、最小)の仕様を表 5-2 に示します。

表 5-2

収集種別		平均値	最大値	最小値	積算差分 ^{注意}	瞬時値	積算値
時限欄 (各時間のセル)		1 日の 平均値*1	1 日の 最大値*2	1 日の 最小値*3	1 日の差分	起 算 正 時 デ ータ*4	1 日の単位あた りの積算値
合計	頁内整合	印字データの 合計値	印字データの 合計値	印字データの 合計値	印字データの 合計値	印字データの 合計値	印字データの 合計値
	帳票間整合	生データの 合計値			生データの 合計値		生データの 合計値
平均	頁内整合	印字データの 平均値	印字データの 平均値	印字データの 平均値	印字データの 平均値	印字データの 平均値	印字データの 平均値
	帳票間整合	生データの 平均値			生データの 平均値		生データの 平均値
最大		印字データ中の最大値					
最小		印字データ中の最小値					

*1: 起算正時の次データ～起算正時データ間の平均値

*2: 起算正時の次データ～起算正時データ間の最大値

*3: 起算正時の次データ～起算正時データ間の最小値

*4: 起算正時データがない場合は欠損とみなします。

5.2.3. 年報仕様

年報の集計項目(合計、平均、最大、最小)の仕様を表 5-3 に示します。

表 5-3

収集種別		平均値	最大値	最小値	積算差分 ^{注意}	瞬時値	積算値
時限欄 (各時間のセル)		1 月の 平均値*1	1 月の 最大値*2	1 月の 最小値*3	1 月の差分	起 算 日 正 時 データ*4	1 月の単位あた りの積算値
合計	頁内整合	印字データの 合計値	印字データの 合計値	印字データの 合計値	印字データの 合計値	印字データの 合計値	印字データの 合計値
	帳票間整合	生データの 合計値			生データの 合計値		生データの 合計値
平均	頁内整合	印字データの 平均値	印字データの 平均値	印字データの 平均値	印字データの 平均値	印字データの 平均値	印字データの 平均値
	帳票間整合	生データの 平均値			生データの 平均値		生データの 平均値
最大		印字データ中の最大値					
最小		印字データ中の最小値					

*1: 起算日正時の次データ～起算日正時データ間の平均値

*2: 起算日正時の次データ～起算日正時データ間の最大値

*3: 起算日正時の次データ～起算日正時データ間の最小値

*4: 起算日正時データがない場合は欠損とみなします。

5.2.4. 積算差分時の注意事項

収集種別を積算差分に設定した場合、各時限のセルには時限分の差分が表示されます。

入力機器のデータが最大積算パルス数を超えた場合、自動的に 0(または 1)に戻るカウントオーバーフロー処理に対応しています。ただし、2 回以上のカウントオーバーフロー処理には対応していませんので、ご使用の際はご配慮ください。

カウントオーバーフロー処理前に意図的にリセットを行った場合は、最大積算パルス数を超えたと判断し、最大積算パルス数との差分演算を行います。

注 意（必ずご確認ください。）

■R3 シリーズの入力カードを使用して積算差分を行う場合、最大積算パルス数は各カードのデフォルト設定にてご使用ください。

■積算差分に対応しているデータは下記のデータのみとなりますので、ご注意ください。

- ・ PC レコーダ(形式:R1M-P4)、R7EWTU、R7MWTU、R7M-PA8 の COUNT タイプデータ(積算パルスカウント)
- ・ リモート I/O R3 シリーズ(形式:R3-PA16、PA4A、PA4B、PA8、WTU、WT4x)の COUNTxx タイプデータ(R3-WTU の COUNT16 データは不可)
- ・ 電力マルチメータ(形式:52U)の COUNT タイプデータ
- ・ (L) 53U、54U、R7EWTU、R7MWTU のピーク時有効電力量 (EP)、ピーク時無効電力量(EQ)、ピーク時皮相電力量(ES)タイプデータ(Ver.6.03.XX 以降)
- ※ (L) 53U、54U の COUNT タイプデータは対応外となります。
- ・ 54U2 の 2 ワード長電力量データ(E 電力量) (Ver.6.07.XX 以降)
- ・ M5XWTU のピーク時有効電力量 (EP)、ピーク時無効電力量(EQ)、ピーク時皮相電力量(ES)タイプデータ(Ver.6.08.XX 以降)

5.3. 付録4 管理者権限で実行

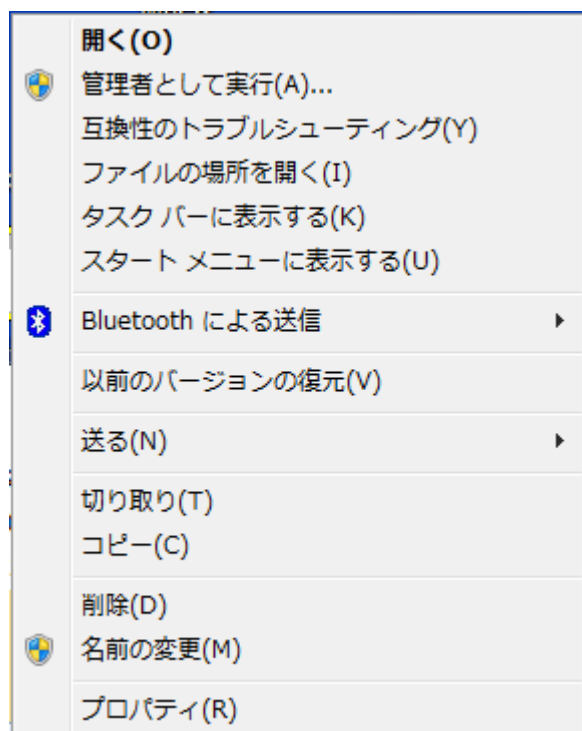
・Windows7 の場合

「プログラムメニュー」の「MSRpro-V6」から「MSReco」を右クリックすると、下図のようなメニューが表示されます。このメニューの管理者として実行を選択すると、「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されます。「はい」を選択すると管理者権限でソフトが起動されます。

＊常に管理者権限で起動する方法

下図のメニューの「プロパティ」を選択し、プロパティ画面の「互換性」タブを開きます。

特権レベルの「管理者としてこのプログラムを実行する」をチェックします。以降、このプログラムは管理者権限で起動されます。



＊個々のパソコンによってメニューの内容が異なります。

・Windows10 の場合

「プログラムメニュー」の「MSRpro-V6」から「MSReco」を右クリックすると、下図のようなメニューが表示されます。このメニューの「管理者として実行」を選択すると、「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されます。「はい」を選択すると管理者権限でソフトが起動されます。

＊常に管理者権限で起動する方法

下図のメニューの「ファイルの場所を開く」を選択し、表示されたエクスプローラー画面上でプログラムファイルを右クリックします。表示されたメニューから「プロパティ」を選択し、プロパティ画面の「互換性」タブを開きます。設定の「管理者としてこのプログラムを実行する」をチェックします。以降、このプログラムは管理者権限で起動されます。

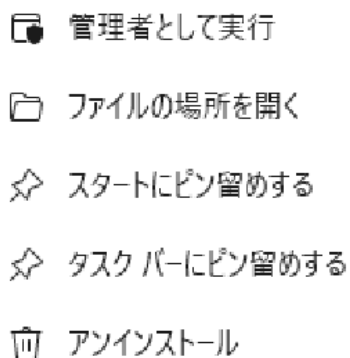


・Windows11 の場合

「プログラムメニュー」の「MSRpro-V6」から「MSReco」を右クリックすると、下図のようなメニューが表示されます。このメニューの「管理者として実行」を選択すると、「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されます。「はい」を選択すると管理者権限でソフトが起動されます。

＊常に管理者権限で起動する方法

下図のメニューの「ファイルの場所を開く」を選択し、表示されたエクスプローラー画面上でプログラムファイルを右クリックします。表示されたメニューから「プロパティ」を選択し、プロパティ画面の「互換性」タブを開きます。設定の「管理者としてこのプログラムを実行する」をチェックします。以降、このプログラムは管理者権限で起動されます。



5.4. 付録5 変更履歴

- | | | |
|----------------|-----|---|
| Ver. 6. 03. XX | ... | ・ 53U、54U、R7EWTU、R7MWTU のピーク時有効電力量 (EP)、ピーク時無効電力量 (EQ)、ピーク時皮相電力量 (ES) タイプデータが MSRpro-Report の帳票用データ種別の積算差分に対応 |
| Ver. 6. 04. XX | ... | ・ MSRpro-Report の英語 OS 対応 |
| Ver. 6. 06. XX | ... | ・ Windows10 対応 |
| Ver. 6. 07. XX | ... | ・ 54U2 に対応 |
| Ver. 6. 08. XX | ... | ・ M5XWTU に対応 |
| Ver. 6. 08. XX | ... | ・ Windows11 に対応 |